Pioneer

マルチプレーヤー
CDJ-900

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機には、以下の2種類の説明書が付属しています。

CDJ-900 取扱説明書（本書）
rekordbox 操作説明書（付属CD-ROM PDFファイル）

製品の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。rekordboxの操作説明書は、rekordboxをインストール後にrekordboxの[ヘルプ]メニューからご覧いただけます。
これらの説明書は、「保証書」、「サービス窓口のご案内」と一緒に保管してください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取り扱いにお困りのとき、本書の巻末をご覧ください。

http://www.prodjnet.com/support/

上記の弊社ホームページでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、お客様のお役に立てる最新のサービスを提供しております。

http://www.prodjnet.com/rekordbox/support/

rekordboxについてのお問い合わせは、上記のサポートサイトをご覧ください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT

COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable

COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

取扱説明書

もくじ

本書の見かた
本書では、製品本体に表示されているチャンネル名、ボタン名、およびソフトウェア上のメニュー名などを、[ ] で囲んで記載しています。(例：[MASTER] チャンネル、[ON/OFF]、[ファイル] メニュー)

01 安全上のご注意
警告 3
注意 3
設置場所について 4
製品のお手入れについて 4

02 はじめに
本機の特長 5

03 準備する
付属品を確認する 7
本機で再生できるディスク /ファイルについて 7

04 各部の名前とはたらき
コントロールパネル 9
本体背面部 10
本体前面部 10
本体表示部 11
ジョグダイヤル表示部 11

05 接続する
基本スタイル 12
rekordboxと組み合わせて使う 12
他社製 DJ ソフトウェアを使う 13
リレー再生のための接続をする 13

06 演奏する
ディスクをセットする 14
USB デバイスをセットする 14
PRO DJ LINKを使う 14
再生する 15
キューを設定する 16
ループを設定する 16
曲のテンポをもとに自動的にループを設定する (オートビートループ) 17
キューポイントまたはループポイントを保存する 17
ジョグダイヤルを操作する 17
[SLIP] を使う 18
他機器と組み合わせて操作する 18
[BROWSE] を使う 18
[TAG LIST] を使う 19
[INFO] を使う 20

07 設定を変更する
[MENU/UTILITY] を使う 21
ソフトウェア rekordboxについて 22
ドライバソフトウェアについて 24
他社製 DJ ソフトウェアを使う 25

08 その他
故障かな？と思ったら 26
エラー表示 27
本体表示部表示アイコン一覧 27
保証とアフターサービス 28
使用上のご注意 28
ディスクの取り扱いかた 28
免責事項について 29
仕様 29

安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。

放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、ラックなどに入れるときはすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。

着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

使用環境

この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流 100 ボルト、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

本機を設置する場合には、壁から 5 cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときは、本機の背面から 5 cm 以上、側面から 5 cm 以上のすき間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用方法

ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

お子様がディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

保守・点検

５年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

設置場所について

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライトなどの近くで長時間使用すると、本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、雑音や映像の乱れは室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。
- 本機は水平で堅牢な床のある場所に設置してください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

注　意

この製品は、レーザ製品の安全基準IEC 60825-1：2007規格の基で評価されたクラス1レーザ製品です。

D58-5-2-2a_A1_Ja

クラス1
レーザ製品

はじめに

本機の特長

本機はディスコ /クラブシーンで求められるさまざまな機能、耐久性、および操作性を実現するプロ DJ 向けマルチプレーヤーです。

MULTI MEDIA, MULTI FORMAT

ディスク (CD) だけでなく、ＵＳＢデバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) に記録されている音楽ファイルを再生できます。また、音楽ファイルのフォーマットは、音楽 CD (CD-DA)、MP3 はもちろん、AAC、WAV、AIFF に対応しています。

rekordbox™

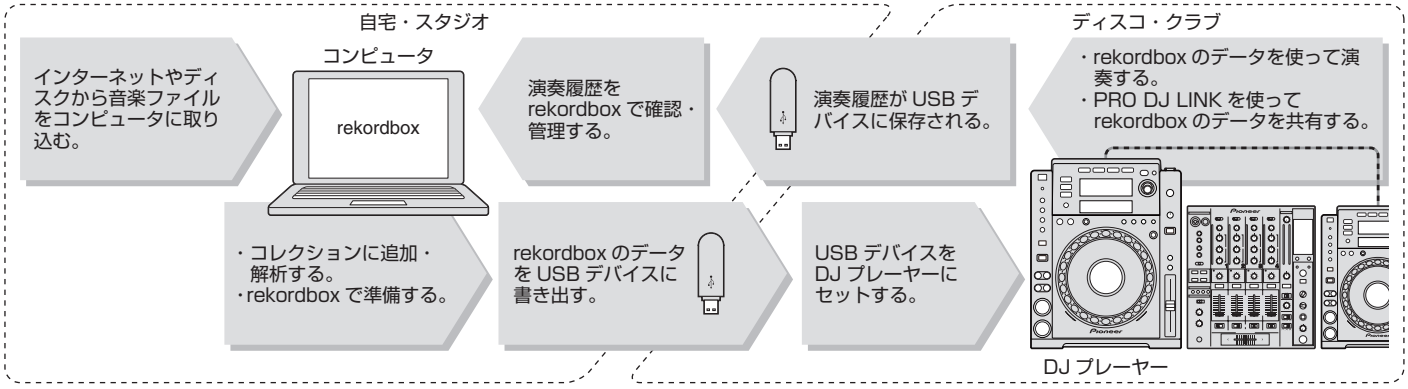
付属の音楽管理ソフトウェア rekordboxを使って、DJ プレイに必要なプレイリスト、キュー、ループ、およびホットキューなどを自宅でじっくり準備できます。当日はディスコ /クラブでの DJ プレイに安心して専念できます。音楽ファイルの入手から DJ プレイまで、各ステップをスムーズに連携させた DJ サイクルを実現します。
rekordboxは、CDJ-2000や CDJ-900などのパイオニア製 DJ プレーヤーをお買い上げいただいたお客様が、DJ プレイに使う音楽ファイルを管理するためのソフトウェアです。
rekordboxを使って検出・測定したデータおよび設定・保存したポイントを、CDJ-2000や CDJ-900などのパイオニア製 DJ プレーヤーと組み合わせて使うことによって、優れた DJ パフォーマンスを実現できます。

PRO DJ LINK

USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) を使った「USB Export」と、rekordboxがインストールされているコンピュータを使った「rekordbox LINK Export」があります。

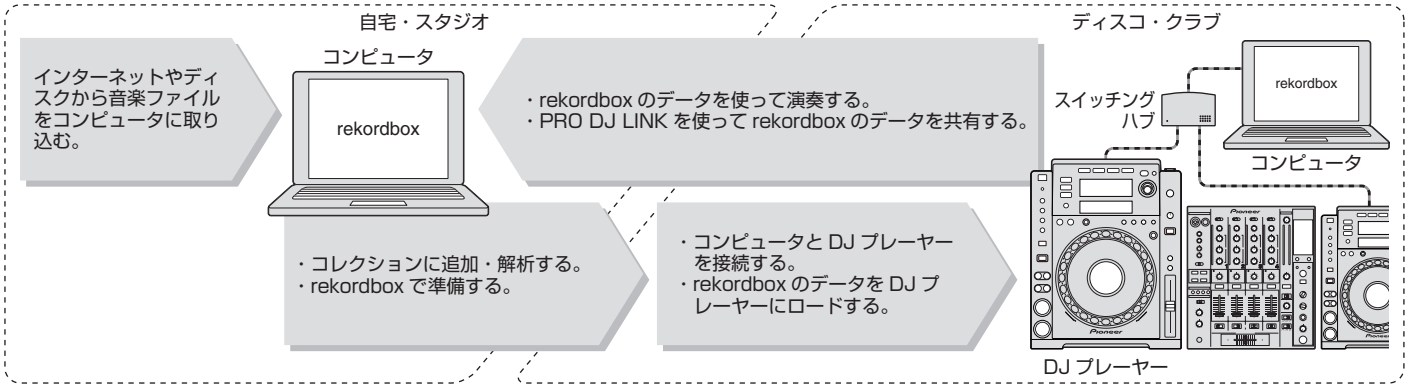
❖ USB Export

USB デバイスを使って rekordboxの音楽ファイルや管理データを受け渡しできます。ディスコやクラブにコンピュータを持ち込む必要がありません。



❖ rekordbox LINK Export

本機とコンピュータを LAN ケーブルを使って接続すると、rekordboxの音楽ファイルや管理データを直接受け渡しできます。USB デバイスにデータをエキスポートする手間を省けます。



SOUND CARD

本機は他社 DJ ソフトウェアをコントロールする専用インターフェイスや MIDI インターフェイスを装備しています。またサウンドカードを内蔵しているので、他の機器ともシンプルに接続できます。

DISPLAY

音楽ファイルの情報をわかりやすく表示する GUI と、簡単に操作できるロータリーセレクターの組み合わせにより、ストレスなく選曲できます。

WAVE DISPLAY

100 × 7 ドットの WAVE 表示を搭載しています。

TAG LIST

rekordboxで準備したプレイリストとは別に、これからプレイする予定の楽曲を本機内に一時的に集めておけます。タグリストに追加されている音楽ファイルを一覧で表示できます。ライブ演奏中の選曲にとても便利です。

KEYWORD SEARCH

キーワード検索やアルファベットジャンプなどを使えば、目的の音楽ファイルを確実に素早く検索できます。

HISTORY MEMORY

音楽ファイルの演奏履歴を記録する HISTORY 機能を備えています。rekordboxを使って演奏履歴からプレイリストを作成できます。

0.5 FRAME STEP

最小フレームは 1 フレーム（1/75 秒）単位から 0.5 フレームへ進化しました。キューポイントやループポイントをより詳細に設定でき、緻密で高度な DJ プレイを実現します。

QUANTIZE

rekordboxで解析された楽曲なら、ラフにボタンを押してもオンビートとなる QUANTIZE 機能を備えています。リアルタイムキューやオートビートループなどを設定するときにボタンを押した位置に最も近い拍に自動で合わせます。

HIGH SOUND QUALITY

デジタル出力 /アナログ出力の両面において、徹底した音質の改善・向上を図っています。
デジタル面では、ウォルフソン社製の高性能 D/A コンバーターを搭載。
アナログ面では、原音を濁らせる原因となる 20 kHz 以上の可聴帯域外ノイズを極限まで低減するため、ハイブリッド OP アンプ回路を採用。不要なデジタルノイズをシャットアウトし、原音に忠実なサウンドを実現しています。

準備する

付属品を確認する

- 音声ケーブル
- 電源コード
- コントロールコード
- LAN ケーブル
- ディスク強制取り出しピン
- CD-ROM (rekordbox)
- ライセンスキー
- 保証書
- 取扱説明書（本書）

本機で再生できるディスク /ファイルについて

再生できるディスク

以下のマークがディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに表記されているディスクを再生できます。

再生できるディスクの種類とマーク

CD	CD-TEXT
CD-R	CD-RW

本機で再生できるディスクは以下のとおりです。
- 音楽 CD (CD-DA) フォーマットで記録されている CD-R/-RW
- 音楽ファイル (MP3/AAC/WAV/AIFF) が記録されている CD-R/-RW

❖ 再生できないディスク

- DTS-CD
- フォト CD
- ビデオ CD
- CD グラフィックス (CD-G)
- ファイナライズしていない CD
- DVD-R/-RW
- DVD+R/+RW
- DVD-R DL (二層)
- DVD+R DL (二層)
- DVD ビデオ
- DVD オーディオ
- DVD-RAM

❖ コンピュータで作成したディスクの再生について

アプリケーションの設定やコンピュータの環境設定によっては、コンピュータで作成したディスクは再生できないことがあります。本機で再生可能なフォーマットで記録してください。詳しくは、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。
コンピュータで作成したディスクは、ディスクの特性・傷・汚れや記録レンズの汚れなどによって記録品質がよくないときは、再生できないことがあります。
ディスクの取り扱いについては、28ページの *ディスクの取り扱いかた*をご覧ください。

❖ バックアップディスク作成のお勧め

CD-R/-RWは、一時停止またはキューポイントでの一時停止を長時間続けると、ディスクの性質上その場所が再生しづらくなることがあります。ループ再生を特定の場所で極端に繰り返したときも、その場所が再生しづらくなることがあります。大切なディスクを再生するときは、バックアップディスクの作成をお勧めします。

❖ コピーコントロール CDについて

当製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

❖ DualDiscについて

当製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

❖ 8 cm シングル CD について

8 cm シングル CD は再生できません。また、8 cm アダプターを CD に取り付けて本機で再生しないでください。ディスクの回転中にアダプターが外れてディスクの破損および本機の故障の原因になります。

❖ CD-TEXT について

本機は CD-TEXT に対応しています。CD-TEXT で記録されているタイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。複数の TEXT 情報が記録されているときは、一番目の TEXT 情報を表示します。対応文字コードは以下のとおりです。
- ASCII
- ISO-8859
- MS-JIS
- Mandarin Chinese Character Code

ディスクの再生について

CD-R/-RWに記録されている音楽ファイル (MP3/ AAC/WAV/AIFF) を再生できます。

フォルダ階層	最大 8階層 (8階層を超えるフォルダに含まれているファイルは再生できません)。
最大フォルダ数	ディスク 1 枚当たり 2 000フォルダ (2 000を超えるフォルダは表示できません)。
最大ファイル数	• ファイルフォーマットごとに最大 999 ファイル。 • ディスク 1 枚当たり 3 000ファイル (3 000を超えるファイルは表示できません)。

フォルダやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。

USB デバイスについて

USB デバイスに記録されている音楽ファイル（MP3/AAC/WAV/AIFF）を再生できます。
ディスク識別情報、キューポイント、ループポイント、およびホットキューなどの情報を USB デバイスに記録できます。

フォルダ階層	最大 8階層（8階層を超えるフォルダに含まれているファイルは再生できません）。
最大フォルダ数	無制限（1 つのフォルダ内に 10 000を超えるフォルダは表示できません）。
最大ファイル数	無制限（1 つのフォルダ内に 10 000を超えるファイルは表示できません）。
対応ファイルシステム	FAT、FAT32、HFS+

- 本機は、外付けハードディスク、携帯フラッシュメモリー、およびデジタルオーディオプレーヤーなどの USB マスストレージクラスの USB デバイスに対応しています。外付け DVD/CD ドライブなどの光ディスク系デバイスは使えません。
- フォルダやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。
- USB デバイスに複数のパーティションの設定をしているときは、最初のパーティションだけ使えます。

❖ USB デバイスをお使いいただくときのご注意

- USB デバイスによっては正常に動作しないことがあります。本機との接続により、USB デバイスに記録されたデータが万一損失した場合、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- USB ハブは使えません。
- フラッシュカードリーダー搭載の USB デバイスは正常に動作しないことがあります。
- 本機の USB 端子に許容量以上の電流が流れると警告画面が表示され、USB デバイスへの電源供給を停止して通信を止めることがあります。正常な状態に戻すためには、本機に接続された USB デバイスを取り外してから、**USB STOP**を押してください。過電流が検出された USB デバイスの再使用は避けてください。以上の方法で正常な状態に戻らない（通信しない）ときは、いったん本機の電源をオフしてから再度電源をオンしてください。
- お使いの USB デバイスによっては期待したパフォーマンスが得られないことがあります。

MP3 ファイルについて

MP3 ファイルには、固定ビットレート (CBR:Constant Bit Rate) と可変ビットレート (VBR:Variable Bit Rate) があります。本機ではどちらのファイルでも再生できますが、VBR は CBR に比べサーチやスーパー・ファースト・サーチの速度が遅くなります。操作性を優先するときは CBR で記録することをおすすめします。
本機は下記フォーマットに従った MP3 ファイルに対応しています。

対応フォーマット	MPEG-1	Audio Layer-3 のサンプリング周波数 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz、ビットレート 32 Kbps ～ 320 Kbps に対応しています。
	MPEG-2	Audio Layer-3 のサンプリング周波数 16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz、ビットレート 16 Kbps ～ 160 Kbps に対応しています。
曲情報		ID3タグVer1.0/1.1/2.2/2.3/2.4に対応しています。 タイトル、アルバム名、アーティスト名などを表示します。
ファイル拡張子		.mp3

AAC ファイルについて

- AAC とは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4で使われる音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。
- AAC データは、データ作成に使ったアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。
- 本機では、iTunes®によってエンコードされた、拡張子が「.m4a」の AAC ファイルのほか、「.aac」、「.mp4」を再生できます。ただし iTunes MUSIC STORE 等で購入された著作権が保護されている AAC ファイルは再生できません。またエンコードする iTunes のバージョンによっては再生できないことがあります。
- 本機は下記フォーマットに従った AAC ファイルに対応しています。

対応フォーマット	MPEG-4 AAC LC	サンプリング周波数 16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz、ビットレート 16 Kbps ～ 320 Kbps に対応しています。
曲情報	aac ファイル	ID3タグVer1.0/1.1/2.2/2.3/2.4に対応しています。 タイトル、アルバム名、アーティスト名などを表示します。
	aac 以外	メタタグ（埋め込みタグ）に対応しています。 タイトル、アルバム名、アーティスト名などを表示します。
ファイル拡張子		.m4a、.aac、.mp4

WAV ファイルについて

本機は下記フォーマットに従った WAV ファイルに対応しています。

対応フォーマット	16 bit/24 bit 非圧縮 PCM 方式、サンプリング周波数 44.1 kHz/48 kHz に対応しています。
曲情報	LST チャンクに対応しています。 タイトル、アルバム名、アーティスト名などを表示します。
ファイル拡張子	.wav

AIFF ファイルについて

本機は下記フォーマットに従った AIFF ファイルに対応しています。

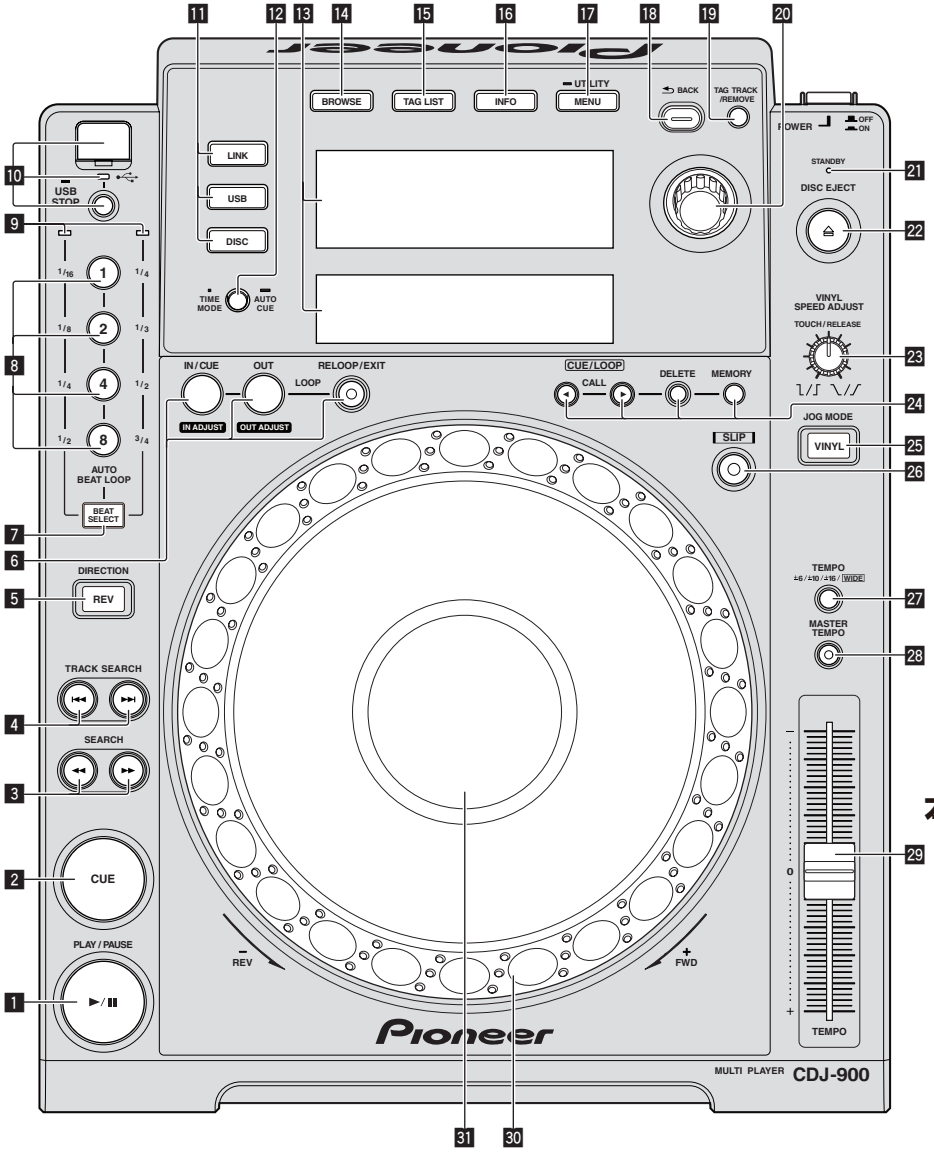
対応フォーマット	16 bit/24 bit 非圧縮 PCM 方式、サンプリング周波数 44.1 kHz/48 kHz に対応しています。 タイトル、アルバム名、アーティスト名などを表示します。
ファイル拡張子	.aif, .aiff

rekordboxについて

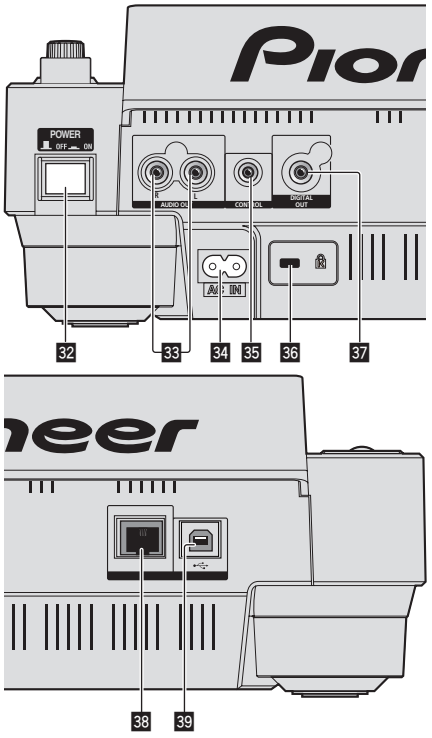
- rekordboxは、CDJ-2000や CDJ-900などのパイオニア製 DJ プレーヤーをお買い上げいただいたお客様が、DJ プレイに使う音楽ファイルを管理するためのソフトウェアです。
  rekordboxを使って検出・測定したデータおよび設定・保存したポイントを、CDJ-2000や CDJ-900などのパイオニア製 DJ プレーヤーと組み合わせて使うことによって、優れた DJ パフォーマンスを実現できます。
- 付属の CD-ROMからコンピュータにインストールしてお使いください。
  rekordboxの使い方については、12ページの *rekordboxと組み合わせて使う*および 22ページの *ソフトウェア rekordboxについて* をご覧ください。

各部の名前とはたらき

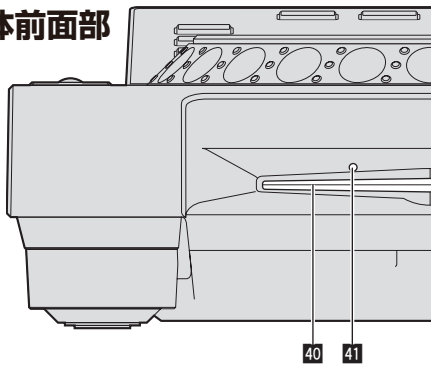
コントロールパネル



本体背面部



本体前面部



コントロールパネル

1 PLAY/PAUSE►/II、PLAY/PAUSE►/IIインジケーター (15ページ)
トラックを再生しているとき点灯します。一時停止しているとき点滅します。

2 CUE、CUEインジケーター (16ページ)
キューポイントが設定されているとき点灯します（頭出し (トラックサーチ) 中を除く)。一時停止中に新しいキューポイントが設定できるとき点滅します。

3 SEARCH◄◄/►► (15ページ)
ボタンを押している間、トラックを早送り / 早戻しします。

4 TRACK SEARCHI◄◄/►►I (15ページ)
トラックを頭出しします。

5 DIRECTION REV、REVインジケーター
逆再生をオン / オフします。
逆再生しているときに点灯します。

6 LOOP IN/CUE (IN ADJUST) (16ページ)
ループインポイントを設定および微調整します。

LOOP OUT (OUT ADJUST) (16ページ)
ループアウトポイントを設定および微調整します。

RELOOP/EXIT (16ページ)
ループ再生に戻る (リループ)、またはループ再生を解除します (ループイグジット)。

7 BEAT SELECT (17ページ)
1 回押すと 1/16 拍、1/8 拍、1/4 拍、1/2 拍のループ再生を選べます。
1 秒以上押すと 1/4 拍、1/3 拍、1/2 拍、3/4 のループ再生を選べます。

8 AUTO BEAT LOOP (1, 2, 4, 8) (17ページ)
曲のテンポをもとに自動的にループを設定します (オートビートループ)。

9 ビートセレクトインジケーター (17ページ)
[BEAT SELECT] を押して選んでいる列のインジケーターが点灯します。

10 USB デバイス挿入口 (14ページ)
USB デバイスをセットします。

USB インジケーター (14ページ)
USB デバイスと通信しているときに点滅します。

USB STOP (14ページ)
USB デバイスを取り外す前に 2 秒以上押します。

11 LINK (15ページ)
他の DJ プレーヤーにセットされているメディア内の音楽ファイルを再生するときに押します。

USB (15ページ)
USB デバイス内の音楽ファイルを再生するときに押します。

DISC (15ページ)
CD または CD-ROM 内の音楽ファイルを再生するときに押します。

12 TIME MODE/AUTO CUE (16ページ)
1 回押すと本体表示部の時間表示方法 (残り時間表示または経過時間表示) を切り換えます。
1 秒以上押すとオートキューをオン / オフします。

13 本体表示部 (11ページ)

14 BROWSE (18ページ)
[BROWSE] 画面を表示するときに押します。

15 TAG LIST (19ページ)
[TAG LIST] 画面を表示するときに押します。

16 INFO (20ページ)
[INFO] 画面を表示するときに押します。

17 MENU/UTILITY (21ページ)
1 回押すとメニュー画面を表示します。
1 秒以上押すと [UTILITY] 画面を表示します。

18 BACK (19ページ)
1 回押すと 1 つ前の画面に戻ります。
1 秒以上押すと一番上の階層に移動します。

19 TAG TRACK/REMOVE (19ページ)
タグリストにトラックを追加 / 削除します。

20 ロータリーセレクター
トラックや設定項目を選ぶとき、ロータリーセレクターを回すとカーソルが移動します。決定するときはロータリーセレクターを押します。

21 STANDBYインジケーター (21ページ)
スタンバイ状態のときに点灯します。

22 DISC EJECT⏏、DISC EJECTインジケーター (14ページ)
ディスクを取り出します。

23 VINYL SPEED ADJUST (18ページ)
ジョグダイヤルの天面を押して再生が減速して停止するまでの速度、およびジョグダイヤルの天面から手を離して通常の再生に戻るまでの速度を調整します。

24 CUE/LOOP CALL◀/▶ (17ページ)
USB デバイスに保存されているキュー、ループを呼び出します

DELETE (17ページ)
USB デバイスに保存されているキューポイント、ループポイントを消去します。

MEMORY (17ページ)
キューポイント、ループポイントを USB デバイスに保存します。

25 JOG MODE、VINYL インジケーター (17ページ)
押すたびに VINYLモードと CDJモードを切り換えます。VINYLモードを選んでいるときインジケーターが点灯します。

26 SLIP (18ページ)
オンに設定すると、スクラッチプレイ中、ループ再生中、または逆再生中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。

27 TEMPO ± 6/ ± 10/ ± 16/WIDE (15ページ)
再生速度の調整範囲を切り換えます。

28 MASTER TEMPO (15ページ)
マスターテンポをオン / オフします。

29 TEMPO (15ページ)
トラックの再生速度を調整します。

30 ジョグダイヤル (- REV/+ FWD) (17ページ)
スクラッチやピッチベンドなどの操作ができます。

31 ジョグダイヤル表示部 (11ページ)

本体背面部

32 POWER ▂ON ■OFF
電源をオンまたはオフします。

33 AUDIO OUT L/R (12ページ)
音声ケーブル (付属) を接続します。

34 AC IN (12ページ)
コンセントと接続します。
電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
必ず付属の電源コードをお使いください。

35 CONTROL (18ページ)
コントロールコード (付属) を接続します。

36 ケンジントンロック装着用穴

37 DIGITAL OUT
同軸デジタルケーブルを接続します。

38 LINK (12ページ)
LAN ケーブル (付属) を接続します。

39 USB (12ページ)
コンピュータと接続します。

⚠ 注意
製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くに、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

本体前面部

40 ディスク挿入口

41 ディスク強制取り出しピン挿入穴

ディスクの強制取り出しについて

- [DISC EJECT⏏] を押してもディスクを取り出せないときは、本体前面のディスク強制取り出しピン挿入穴にディスク強制取り出しピンを押し込むことにより、ディスクを強制的に取り出せます。
- ディスクを強制的に取り出すときは、下記の事項を厳守してください。

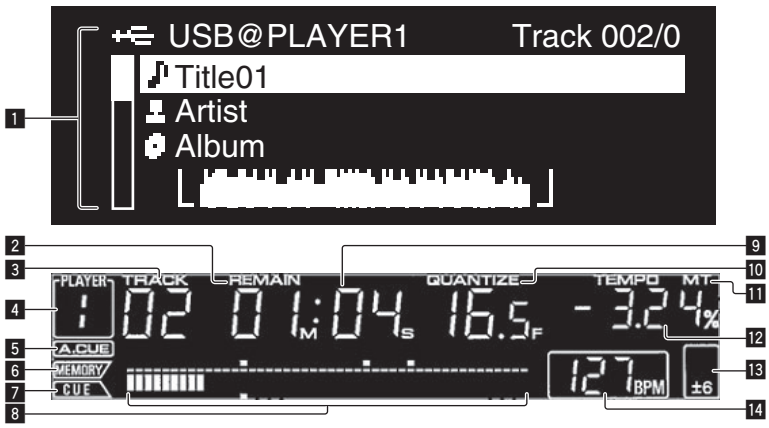
1 [POWER] を押して本機の電源をオフにし、1 分以上待つ

電源を切ってすぐに強制取り出しを行うと、次のような危険を伴いますので絶対に行わないでください。
ディスクが回転したまま本体から排出されるため、指などに当たりケガをする危険があります。
ディスクのクランプが不安定な状態で回転するためディスクに傷が付きます。

2 付属のディスク強制取り出しピンを使う (他のものは使わないでください)

付属のディスク強制取り出しピンは本機底面にはめ込んであります。ピンを挿入穴に根元まで押し込むと、ディスクがディスク挿入口から 5 mm ～ 10 mm ほど排出されますので、指でつまんで引き抜いてください。

本体表示部



1 情報表示部
それぞれ 63 文字まで表示できます。表示できる文字は A ～ Z、0 ～ 9、および一部の記号です。それ以外の文字は " ? " で表示されます。

2 REMAIN
時間表示を残り時間表示に設定しているとき点灯します。

3 TRACK
トラック番号 (01 ～ 99) を表示します。

4 PLAYER
本機に割り当てられたプレーヤー番号 (1 ～ 4) を表示します。

5 A. CUE (16ページ)
オートキューを設定しているとき点灯します。

6 MEMORY
USB デバイスに記録されているキューポイントおよびループポイントをマークで表示します。

7 CUE
設定しているキューポイントおよびループポイントの位置をマークで表示します。

8 プレーイングアドレス表示
トラック（1 曲）を棒グラフで表示します。残り時間を表示するときは左端から消灯します。トラックの残り時間が 30 秒以下になるとグラフ全体がゆっくり点滅し、15 秒以下になると早く点滅します。

9 時間表示 (分、秒、フレーム)
75 フレームで 1 秒です。

10 QUANTIZE
[QUANTIZE] をオンに設定しているとき赤色で表示されます。
[QUANTIZE] をオンに設定すると、[LOOP IN/CUE (IN ADJUST)]、[LOOP OUT (OUT ADJUST)]、または [AUTO BEAT LOOP] (1, 2, 4, 8) を押したときに最も近い拍位置 (ビート) に、ループポイントのポイントを自動で合わせます。
以下の状態ではクオンタイズ機能は働きません (消灯します)。
- ディスクに記録されているトラックを再生しているとき
- rekordboxで解析されていない音楽ファイルを再生しているとき
- 一時停止しているとき

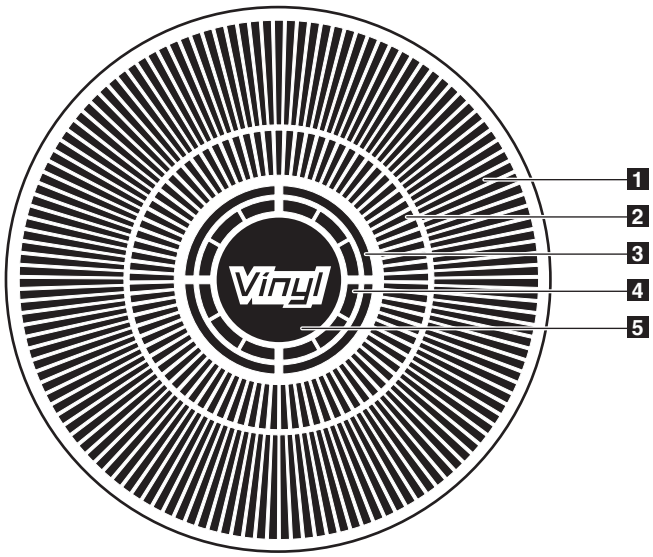
11 MT
マスターテンポを設定しているとき点灯します (15ページ)。

12 再生速度表示
[TEMPO] の位置に従って、数値が変化します。

13 再生速度可変範囲表示
メディアに記録されている元々の再生速度に対して、再生速度を調整できる範囲を表示します。

14 BPM
再生しているトラックの BPM (=Beats Per Minute。1 分間の拍数。) を表示します。

ジョグダイヤル表示部



1 動作表示
1 周 135 フレームとして再生位置を表示します。再生中は回転し一時停止中は停止します。

2 キューポイント表示 /SLIP再生表示

3 音声メモリー状態表示
音声メモリー書き込み中に点滅します。書き込みが完了すると点灯します。
音声メモリーを書き込み中は、以下の操作ができないことがあります。
- 再生しながらキューポイントを設定する (リアルタイムキュー)

スクラッチプレイによってメモリーが不足したときも点滅します。

4 ジョグタッチ検出表示
ジョグモードを VINYLモードに設定しているとき、ジョグダイヤル天面を押すと点灯します。

5 VINYL
ジョグモードを VINYLモードに設定しているとき点灯します (17ページ)。

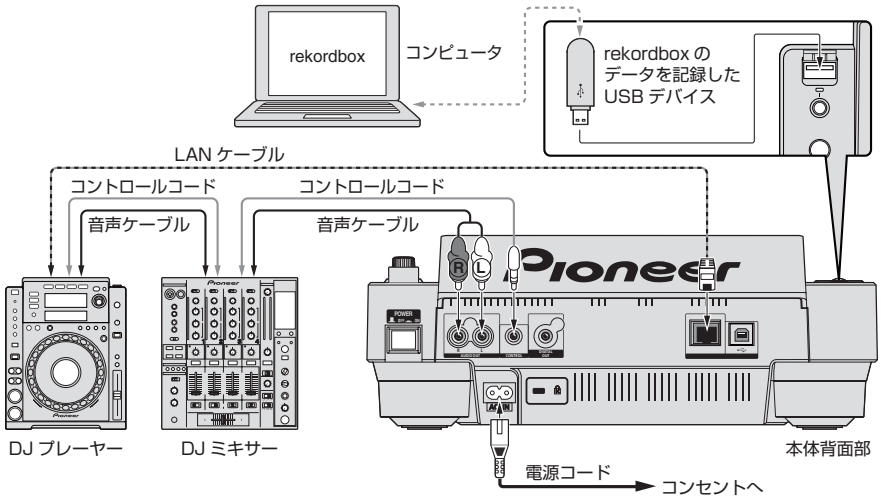
接続する

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

PRO DJ LINKを使って音楽ファイルまたは情報を共有しているときは、LAN ケーブルを取り外さないでください。

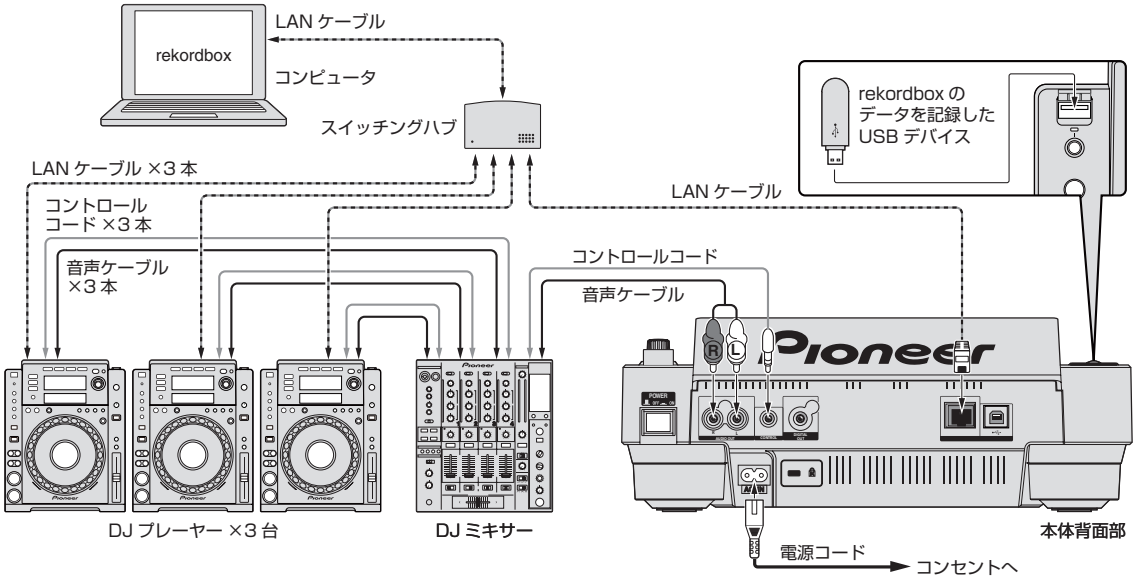
基本スタイル

- DJ ブースにコンピュータを持ち込まずに、USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) を使って、rekordboxの音楽ファイルやデータを本機と受け渡しできます。rekordboxであらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、およびループなどの情報を使って演奏できます。
- DJ プレーヤーにセットされているメディアの内容 (トラック、キューポイントメモリー、WAVE 情報など) を共有できます。詳しくは、14ページの *PRO DJ LINK を使う*をご覧ください 。
- 最大 4 台まで接続できます。3 台以上接続するときは、スイッチングハブ (市販) が必要です。100 Mbps 以上のスイッチングハブをお使いください。スイッチングハブによっては正常に動作しないことがあります。



rekordboxと組み合わせて使う

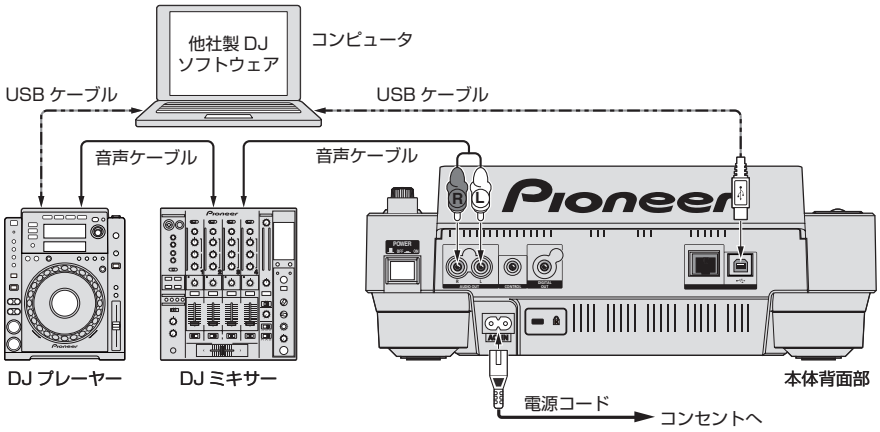
- rekordboxがインストールされているコンピュータと LAN ケーブルを使って接続すると、rekordbox内のトラックを選曲および再生できます。コンピュータでのrekordboxの操作については、rekordboxの操作説明書をご覧ください。rekordboxの操作説明書は、rekordboxの [ヘルプ] メニューからご覧いただけます。
- コンピュータは最大 2 台まで接続できます。
- 各 DJ プレーヤーにセットされているメディアの内容 (トラック、キューポイントメモリー、WAVE 情報など) を表示できます (14ページ)。
- 最大 4 台まで接続できます。3 台以上接続するときは、スイッチングハブ (市販) が必要です。100 Mbps 以上のスイッチングハブをお使いください。スイッチングハブによっては正常に動作しないことがあります。



他社製 DJ ソフトウェアを使う

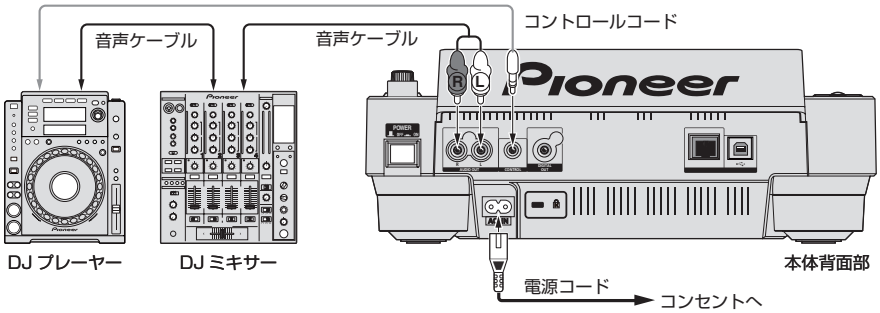
本機はボタンやテンポ調整つまみなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたパソコンと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピュータで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。詳しくは、24ページの *ドライバソフトウェアについて*および 25ページの *他社製 DJ ソフトウェアを使う*をご覧ください 。

- Mac OS X (10.4.6以降)、Windows Vista ®、または Windows® XP がインストールされているコンピュータを接続してください。



リレー再生のための接続をする

本機とパイオニア製 DJ プレーヤーの CONTROL端子どうしをコントロールコードを使って接続すると、2 台の DJ プレーヤーをリレー再生できます (18ページ)。



演奏する

ディスクをセットする

- 印刷面を上にしてディスクをセットしてください。
- 本機前面のディスク挿入口に水平に入れてください。
- ディスクを一度に 2 枚以上入れないでください。
- 本機の電源がオフのとき、本機のディスク挿入口に無理にディスクを入れないでください。ディスクの破損および本機の故障の原因になります。
- 本機がディスクを引き込もうとしているとき、または排出しようとしているときに、その動きに逆らうような力をディスクに加えないでください。ディスクの破損および本機の故障の原因になります。

1 [POWER] を押す
本機の電源をオンにします。

2 ディスク挿入口にディスクを入れる
再生が始まります。
- オートキューをオンに設定しているときは、[PLAY/PAUSE▶/❚❚] を押すと再生が始まります。オートキューについては、16ページの *オートキューを設定する*をご覧ください。

ディスクを取り出す

[DISC EJECT⏏] を押す
ディスク挿入口からディスクが排出されます。
- 誤って [DISC EJECT⏏] を押してしまったとき、すぐに [PLAY/PAUSE▶/❚❚] を押すと [DISC EJECT⏏] を押す直前の状態に復帰します (この間は、音声が出力されません)。

USB デバイスをセットする

USB端子に USB デバイスを挿入する
USB インジケーターが点灯します。
- 以前に本機またはパイオニア製 DJ プレーヤーにセットした USB デバイスをセットすると、WAVE 情報などを記録しているディスクの枚数が本体表示部に表示されます。

USB デバイスを本機から取り外す

- USB デバイスを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。操作しないまま USB デバイスを取り外すと、本機の管理データが消去されることがあります。また、USB デバイスが読み込めなくなることがあります。
- 本機の電源をオフするときは、必ず USB デバイスを取り外してから電源をオフしてください。

1 [USB STOP] を 2 秒以上押す
USB インジケーターが消灯します。

2 USB デバイスを引き抜く

PRO DJ LINKを使う

本機 2 台以上を LAN ケーブルを使って接続すると、それらの機器にセットされている USB デバイスに記録されているトラックを本機にロードできます。

1 本機と DJ プレーヤーを LAN ケーブルを使って接続する

2 [LINK] を押す
他の DJ プレーヤーにセットされているメディアが本機の表示部に表示されます。

3 メディアを選んで決定する
メディアの内容が表示されます。

4 トラックを選んで決定する
トラックが本機にロードされます。
- PRO DJ LINK接続している DJ プレーヤーの間では以下の情報を共有できます。
  - — トラック (音楽ファイル)
  - — TAG LIST (19ページ)
  - — INFO (20ページ)
  - — ディスクのキューポイント
  - — ディスクの WAVE 表示

ディスクの情報を共有する

1 PRO DJ LINK接続している DJ プレーヤーに USB デバイスをセットする

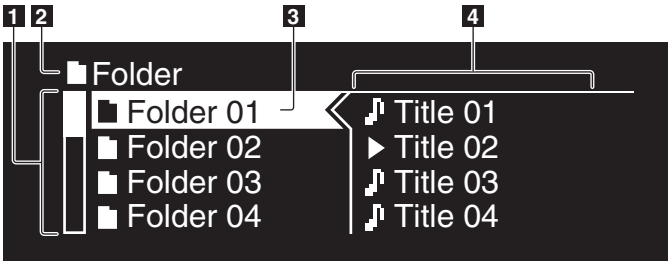
2 ディスクを本機にセットする
本機に USB デバイスがセットされていないときは、USB デバイスをセットした DJ プレーヤーのプレーヤー番号と確認画面が本機の表示部に表示されます。

3 本機の [MEMORY] を押す
PRO DJ LINK接続されている DJ プレーヤーの USB デバイスに、本機にセットしているディスクの情報が登録されます。
- 複数の DJ プレーヤーを PRO DJ LINK接続しているとき、2 台以上の DJ プレーヤーに USB デバイスをセットすると、本機以外の DJ プレーヤーにディスクは登録されません。
- 手順 3 で [DELETE] を押すと、ディスクの情報はいずれの DJ プレーヤーにも登録されません。USB デバイスが本機 (ディスクをセットしている DJ プレーヤー) にセットされるまでディスクの情報はいずれの DJ プレーヤーにも登録されません。ディスクの情報を登録するときは、[DISC] を押してから [MENU/UTILITY] を押して登録先を選んでください。

ライブラリブラウズとフォルダブラウズについて

USB デバイスは、ライブラリ情報が記録されているか否かによってブラウズの表示方法が異なります。
- ライブラリ情報あり →ライブラリブラウズ : 音楽ファイルを rekordboxで設定したカテゴリー (アルバム、アーティストなど) で表示します。
- ライブラリ情報なし →フォルダブラウズ : メディア内のフォルダ / トラックをツリー構造で表示します。

カテゴリーメニューの項目の種類は、rekordboxのプリファレンス (環境設定) で変更できます。



1内容一覧	選んでいるメディアの内容を表示します。
2上位階層	表示されている項目の上位フォルダまたはメディアの名前を表示します。
3カーソル	ロータリーセレクターを回すと上下に移動します。
4選択項目内容	カーソルで選んでいる行の内容を表示します。

再生する

1 メディアを本機にセットする

2 [DISC]、[USB]、または [LINK] を押す
選んだメディアの内容が表示されます。

3 ロータリーセレクターを回す
トラックを選びます。カテゴリー /フォルダ /トラックの情報が表示されます。
- フォルダの下位階層に進むときはロータリーセレクターを押します。上位階層に戻るときは [BACK] を押します。
- [BACK] を 1 秒以上押す、またはブラウズしているメディアのメディアボタンを押すと、一番上の階層に移動します。

4 ロータリーセレクターを押す
トラックがロードされ再生が始まります。
- [TRACK SEARCH⏮/⏭] を使って再生しているトラックが含まれているカテゴリー /フォルダ内のトラックを選べます。
- 音楽ファイルが階層構造で記録されているディスクをセットしたときは、一番上の階層に入っているトラックから再生します。

一時停止する

再生中に [PLAY/PAUSE▶/⏸] を押す
PLAY/PAUSE▶/⏸インジケーターと CUEインジケーターが点滅します。もう一度 [PLAY/PAUSE▶/⏸] を押すと再生を再開します。
- 一時停止したまま 100 分間以上操作しないと、自動的にディスクの回転を停止します。このとき [PLAY/PAUSE▶/⏸] を押すと、1 トラック目から再生を再開します。オートキューがオンに設定されているときは、1 トラック目が頭出しされて一時停止状態になります。

❖ ディスクを取り出す直前の位置から再生を再開する (レジューム)
- ディスクを取り出したあと、すぐに同じディスクを本機にセットするとディスクを取り出す直前の位置から再生を再開します。
- レジューム機能は、同じディスクを続けて取り出し /再セットしたときだけ働きます。
- 再生が始まる前に [TRACK SEARCH⏮/⏭] を押すと、トラックを頭出しして再生します。
- レジューム機能は、USB デバイスでは働きません。

早送り /早戻しする

[SEARCH◀◀/▶▶] を押す
[SEARCH◀◀/▶▶] を押し続けている間、早送り /早戻しします。
- 音楽ファイルがフォルダ構造で記録されているときは、同じカテゴリー /フォルダに入っているトラックだけ早送り /早戻しします。

頭出しする (トラックサーチ)

[TRACK SEARCH⏮/⏭] を押す
[⏭] を押すと、次のトラックの先頭に進みます。
[⏮] を押すと、再生中のトラックの先頭に戻ります。2 回続けて押すと 1 つ前に戻ります。
- 音楽ファイルがフォルダ構造で記録されているときは、同じカテゴリー /フォルダに入っているトラックだけ頭出しします。
- オートキューをオンに設定しているときは、トラックの先頭で頭出しされて一時停止状態になります (16ページ)。

再生速度を調整する (テンポコントロール)

[TEMPO] を前後に動かす
[+] (手前) 側に動かすと再生速度が早くなり、[-] (奥) 側に動かすと再生速度が遅くなります。再生速度を変化させている割合が再生速度表示に表示されます。

❖ 再生速度を調整する範囲を選ぶ

[TEMPO ± 6/ ± 10/ ± 16/WIDE] を押す
押すたびに [TEMPO] の可変範囲が切り換わります。可変範囲の設定値が再生速度可変範囲表示に表示されます。
- ± 6 %では 0.02 %単位、± 10 %では 0.05 %単位、± 16 %では 0.05 %単位、WIDEでは 0.5 %単位で調整できます。
- WIDEの調整範囲は± 100 %です。− 100 %に設定すると再生が停止します。
- 電源をオンしたときは± 10 %に設定されます。

音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)

[MASTER TEMPO] を押す
MASTER TEMPOインジケーターと本体表示部の [MT] が点灯します。
[TEMPO] で再生速度を変えても音程は変わりません。
- 音声をデジタル加工するため、音質が悪くなります。

逆再生する

[REV] を押す
REVインジケーターが点灯し、逆方向に再生します。
- 音楽ファイルがフォルダ構造で記録されているときは、同じカテゴリー /フォルダに入っているトラックだけ逆再生できます。また、逆再生がすぐに始まらないことがあります。
- ジョグダイヤルの回転方向に応じた演奏の加・減速が逆向きになります。
- 逆再生中に、頭出し (トラックサーチ) やループ再生などの操作をすると、ジョグダイヤル表示部の音声メモリー状態表示が点滅してスクラッチプレイができないことがあります。

キューを設定する

1 再生中に [PLAY/PAUSE▶/II] を押す
再生を一時停止します。

2 [CUE] を押す
一時停止していた位置が、キューポイントに設定されます。CUEインジケーターが点灯し、PLAY/PAUSE▶/IIインジケーターが点滅します。このとき音声は出力されません。
- 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。
- キューポイントの保存については、17ページの *キューポイントまたはループポイントを保存する*をご覧ください。

キューポイントの位置を修正する

1 キューポイントで一時停止中に [SEARCH◀◀/▶▶] を押す
CUEインジケーターと PLAY/PAUSE▶/IIインジケーターが点滅します。

2 [SEARCH◀◀/▶▶] を押す
0.5 フレーム単位でキューポイントを微調整できます。
- ジョグダイヤルを使っても同じ操作ができます。

3 [CUE] を押す
ボタンを押した位置がキューポイントに設定されます。
- 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。
- トラックをロードしているメディアを取り外すとキューポイントは解除されます。キューポイントの保存については、17ページの *キューポイントまたはループポイントを保存する*をご覧ください。

キューポイントに戻る (バックキュー)

再生中に [CUE] を押す
設定されているキューポイントに瞬時に戻り、頭出しされて一時停止状態になります。
- [PLAY/PAUSE▶/II] を押すと、キューポイントから再生が始まります。

キューポイントを確認する (キューポイントサンプラー)

キューポイントに戻ったあとに [CUE] を押し続ける
設定されているキューポイントから再生が始まります。[CUE] を押し続けている間、再生を続けます。
- 音楽ファイルがフォルダ構造で記録されているときは、同じカテゴリー /フォルダに入っているトラックの間でだけキューポイントを確認できます。

再生しながらキューポイントを設定する (リアルタイムキュー)

再生中にキューポイントに設定したい位置で [LOOP IN/CUE (IN ADJUST)] を押す
ボタンを押した位置がキューポイントに設定されます。

オートキューを設定する

トラックをロードしたとき、または頭出し (トラックサーチ) したとき、トラック先頭の無音部分を飛ばして音声が始まる直前に自動でキューポイントを設定します。

[TIME MODE/AUTO CUE] を 1 秒以上押す
オートキューがオンに設定されます。本体表示部の [A. CUE] が点灯します。
- 電源をオフにしてもオートキューの設定は記憶されます。

オートキューレベルを変更する

無音部として認識する音圧レベルを以下の 8 段階から選べます。
− 36 dB、− 42 dB、− 48 dB、− 54 dB、− 60 dB、− 66 dB、− 72 dB、− 78 dB
- 電源をオフにしてもオートキューレベルの設定は記憶されます。
- オートキューレベルの変更方法には、以下 2 つの方法があります。

❖ **変更方法** [MENU/UTILITY]

1 [MENU/UTILITY] を 1 秒以上押す
[UTILITY] 画面が表示されます。

2 [AUTO CUE LEVEL] を選んで決定する

3 ロータリーセレクターを回す
オートキューレベルの設定を変更します。

❖ **変更方法** [TIME MODE/AUTO CUE]

1 [TIME MODE/AUTO CUE] を 5 秒以上押す
オートキューレベル変更モードに切り換わります。

2 [CUE/LOOP CALL◀/▶] を押す
オートキューレベルの設定を変更します。
- 変更モードを解除するときはもう一度 [TIME MODE/AUTO CUE] を押します。

ループを設定する

1 再生中にループ再生を始めたい位置 (ループインポイント) で [LOOP IN/CUE (IN ADJUST)] を押す
ループインポイントが設定されます。
- あらかじめ設定しているキューポイントをループインポイントに設定するときは、この操作は必要ありません。

2 ループ再生を終わりたい位置 (ループアウトポイント) で [LOOP OUT (OUT ADJUST)] を押す
ループアウトポイントが設定され、ループインポイントに戻ってループ再生を始めます。
- 音楽ファイルを再生しているときは、1 トラックの中にだけループ再生を設定できます。

ループインポイントを微調整する (ループインアジャスト)

1 ループ再生中に [LOOP IN/CUE (IN ADJUST)] を押す
[LOOP IN/CUE (IN ADJUST)] が速い点滅に変わり、[LOOP OUT (OUT ADJUST)] が消灯します。
本体表示部にループインポイントの時間が表示されます。

2 [SEARCH◀◀/▶▶] を押す
0.5 フレーム単位でループインポイントを微調整できます。
- ジョグダイヤルを使っても同じ操作ができます。
- ループインポイントの調整可能範囲は± 30 フレームでループアウトポイントより手前です。

3 [LOOP IN/CUE (IN ADJUST)] を押す
- 通常のループ再生に戻ります。
- 10 秒以上何も操作しないときも通常のループ再生に戻ります。
- 音楽ファイルを再生しているときは、1 トラックの中でだけループインポイントを調整できます。

ループアウトポイントを微調整する (ループアウトアジャスト)

1 ループ再生中に [LOOP OUT (OUT ADJUST)] を押す
[LOOP OUT (OUT ADJUST)] が速い点滅に変わり、[LOOP IN/CUE (IN ADJUST)] が消灯します。
本体表示部にループアウトポイントの時間が表示されます。

2 [SEARCH◀◀/▶▶] を押す
0.5 フレーム単位でループアウトポイントを調整できます。
- ジョグダイヤルを使っても同じ操作ができます。
- ループアウトポイントの調整可能範囲はループインポイントより後ろです。

3 [LOOP OUT (OUT ADJUST)] を押す
通常のループ再生に戻ります。
- 10 秒以上何も操作しないときも通常のループ再生に戻ります。
- 音楽ファイルを再生しているときは、1 トラックの中でだけループアウトポイントを調整できます。

ループ再生を解除する (ループイグジット)

ループ再生中に [RELOOP/EXIT] を押す
ループアウトポイントになっても、ループインポイントには戻らず再生を続けます。

ループ再生に戻る (リループ)

ループ再生を解除したあと、再生中に [RELOOP/EXIT] を押す
前回設定したループインポイントに戻り、ループ再生を再開します。

ループを分割する (ループカッター)

ループ再生中に [LOOP OUT (OUT ADJUST)] を押しながら [SEARCH◀◀] 押す
ボタンを押すたびにループ再生の長さが半分に分割されます。

ループを延長する

ループ再生中に [LOOP OUT (OUT ADJUST)] を押しながら [SEARCH▶▶] を押す
押すたびにループ再生の長さが倍に延長されます。
- 以下の方法でも同じ操作ができます。
  — [LOOP OUT (OUT ADJUST)] を押しながらジョグダイヤルを回す

曲のテンポをもとに自動的にループを設定する (オートビートループ)

1 [BEAT SELECT] を押す
ループ再生する拍数を設定します。1 拍、2 拍、4 拍、または 8 拍のループ再生を選ぶときはこの操作は必要ありません。
- 1/4 拍 , 1/3 拍 , 1/2 拍 , 3/4 拍 : [BEAT SELECT] を 1 秒以上押します。
- 1/16 拍 , 1/8 拍 , 1/4 拍 , 1/2 拍 : [BEAT SELECT] を 1 回押します。

2 再生中または一時停止中にループを設定したい位置で [AUTO BEAT LOOP] (1, 2, 4, 8) のいずれかを押す
押したボタンが点滅し、曲のテンポ (BPM) と手順 1 で設定した拍数に従ってループアウトポイントを自動的に設定してループ再生を始めます。
- オートビートループ中にもう一度 [AUTO BEAT LOOP] (1, 2, 4, 8) を押す と、設定されているループインポイントのまま、曲のテンポ (BPM) と押した ボタンの拍数に従ってループアウトポイントを再設定してループ再生を始めま す。

キューポイントまたはループポイントを保存する

1 USB デバイスを本機にセットする

2 キューポイントまたはループポイントを設定する

3 [MEMORY] を押す
本体表示部に [•⇢ MEMORY] が表示されます。プレーイングアドレス表示に保存したキューポイントが表示されます。USB デバイスにポイント情報が記録されます。
- ループポイントを保存するときは、ループ再生中に [MEMORY] を押します。保存したループポイントがプレーイングアドレス表示に表示されます。

保存されているキューまたはループを呼び出す

1 USB デバイスを本機にセットする

2 キューポイントまたはループポイントを呼び出したいトラックをロードする
キューポイントまたはループポイントを、プレーイングアドレス表示にマークで表示します。

3 [CUE/LOOP CALL◀/▶] を押す
選んだポイントで頭出しされて一時停止状態になります。
- 複数のポイントが記録されているときは、ボタンを押すたびにポイントを移動します。

4 [PLAY/PAUSE▶/❚❚] を押す
再生またはループ再生を始めます。

キューポイントまたはループポイントを個別に消去する

1 USB デバイスを本機にセットする

2 キューポイントまたはループポイントを消去したいトラックをロードする
キューポイントまたはループポイントを、プレーイングアドレス表示にマークで表示します。

3 [CUE/LOOP CALL◀/▶] を押す
選んだポイントで頭出しされて一時停止状態になります。
- 複数のポイントが記録されているときは、ボタンを押すたびにポイントを移動します。

4 [DELETE] を押す
本体表示部に [•⇢ DELETE] と表示され、選んだポイント情報が消去されます。

キューポイントまたはループポイントをディスク単位で消去する

1 USB デバイスを本機にセットする
キューポイントまたはループポイントを、プレーイングアドレス表示にマークで表示します。

2 [DELETE] を 5 秒以上押す
本体表示部に [DISC CUE/LOOP DATA-DELETE? PUSH MEMORY] と表示されます。

3 [MEMORY] を押す
本機にセットされているディスクに関するキューポイントまたはループポイントが消去されます。
- [MEMORY] 以外のボタンを押すと消去モードが解除されます。

USB デバイスに記録されているディスクの情報をすべて消去する

1 本機にディスクをセットしていない状態で、[DELETE] を 5 秒以上押す
本体表示部に [DISC CUE/LOOP DATA-DELETE ALL? PUSH MEMORY] と表示されます。

2 [MEMORY] を押す
USB 機器に記録されているディスクの情報がすべて消去されます。
- [MEMORY] 以外のボタンを押すと消去モードが解除されます。

ジョグダイヤルを操作する

ジョグダイヤルの天面にはスイッチが内蔵されています。物を載せたり、強い力を加えないでください。また、飲料水などの液体が製品内部に入りますと故障の原因になります。
ジョグダイヤルには、以下 2 つのモードがあります。
- VINYLモード : 再生中にジョグダイヤルの天面を押すと再生を停止し、そのまま回すと回転に応じた音声が出ます。
- CDJモード : ジョグダイヤルの天面を押して再生は停止しません。またスクラッチプレイなどの操作ができません。

フレームサーチ [VINYL • CDJ]

一時停止中にジョグダイヤルを回す
0.5 フレーム単位で一時停止位置を移動できます。
- 時計回りで再生方向、反時計回りで逆方向に移動します。ジョグダイヤルを 1 回転すると 135 フレーム移動します。

スーパー・ファースト・サーチ [VINYL • CDJ]

[SEARCH◀◀/▶▶] を押しながらジョグダイヤルを回す
ジョグダイヤルを回す方向に高速で早送り /早戻しします。
- [SEARCH◀◀/▶▶] から指を放すと、この機能は解除されます。
- ジョクダイヤルの回転を止めると、通常の再生を再開します。
- ジョグダイヤルの回転速度に応じて早送り / 早戻し速度を調節できます。

❖ **スーパー・ファースト・トラックサーチ**

[TRACK SEARCH◀◀/▶▶] を押しながらジョグダイヤルを回すと、ジョグダイヤルを回す方向に高速でトラックを送ります。

ピッチベンド [VINYL • CDJ]

再生中にジョグダイヤルの外周部分を回す
時計回りに回すと再生速度が加速します。反時計回りに回すと再生速度が減速します。回転を止めると、通常の再生速度に戻ります。
- ジョグモードを CDJモードに設定しているときは、ジョグダイヤルの天面を回しても同じ操作ができます。

スクラッチプレイ [VINYL]

ジョグモードを VINYLモードに設定しているとき、ジョグダイヤルの天面を押しながら回すことによってジョグダイヤルの回転方向と回転速度に応じた再生ができます。

1　[JOG MODE VINYL] を押す
ジョグモードを VINYLモードに設定します。

2　再生中にジョグダイヤルの天面を押す
再生が減速してから停止します。

3　ジョグダイヤルを再生したい方向と速度で回す
ジョグダイヤルの回転方向と回転速度に応じて音声が再生されます。

4　ジョグダイヤルの天面から手を放す
通常の再生に戻ります。

❖ ジョグダイヤルの天面を押して再生が減速して停止するまでの速度、およびジョグダイヤルの天面から手を離して通常の再生に戻るまでの速度を調整する

[VINYL SPEED ADJUST TOUCH/BRAKE] を回す
右に回すほど速度が遅くなり、左に回すほど速度が速くなります。
- ジョグモードを VINYLモードに設定しているとき、[PLAY/PAUSE►/❚❚] を押して再生が開始および停止する速度も同時に変更されます。

[SLIP] を使う

[SLIP] をオンに設定すると、スクラッチプレイ中、ループ再生中、または逆再生中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。スクラッチプレイ、ループ再生、または逆再生を解除すると、解除するまでに経過した位置から通常の再生を再開します。

スリップスクラッチプレイ [VINYL]

1　[JOG MODE VINYL] を押す
ジョグモードを VINYLモードに設定します。

2　[SLIP] を押す
スリップモードに切り換えます。

3　再生中にジョグダイヤルの天面を押す
スクラッチプレイします。
スクラッチプレイ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。バックグラウンド再生の拍に合わせて SLIPインジケーターが点滅します。バックグラウンド再生の再生位置がジョグダイヤルの SLIP再生表示に表示されます。
- スリップスクラッチプレイ中は、スリップループ、スリップリバースは操作できません。

4　ジョグダイヤルの天面から手を放す
バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。
- スリップモードを解除するときはもう一度 [SLIP] を押します。

スリップループ

1　[SLIP] を押す
スリップモードに切り換えます。

2　[LOOP IN/CUE (IN ADJUST)] を押してから [LOOP OUT (OUT ADJUST)] を押す
ループ再生を始めます。
ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。バックグラウンド再生の拍に合わせて SLIPインジケーターが点滅します。バックグラウンド再生の再生位置がジョグダイヤルの SLIP再生表示に表示されます。
- 8 秒以上のループは設定できません。

3　[RELOOP/EXIT] を押す
ループが解除され、バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。
- スリップモードを解除するときはもう一度 [SLIP] を押します。

オートビートスリップループ

1　[SLIP] を押す
スリップモードに切り換えます。

2　[AUTO BEAT LOOP] (1, 2, 4, 8) のいずれかを押す
自動的にループが設定されてループ再生を始めます。
ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。バックグラウンド再生の拍に合わせて SLIPインジケーターが点滅します。バックグラウンド再生の再生位置がジョグダイヤルの SLIP再生表示に表示されます。

3　[RELOOP/EXIT] を押す
バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。
- スリップモードを解除するときはもう一度 [SLIP] を押します。

スリップリバース

1　[SLIP] を押す
スリップモードに切り換えます。

2　再生中に [REV] を押す
REVインジケーターが点灯し、逆方向に再生します。
逆再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。バックグラウンド再生の拍に合わせて SLIPインジケーターが点滅します。バックグラウンド再生の再生位置がジョグダイヤルの SLIP再生表示に表示されます。
- スリップリバースは [REV] を押した位置から 8 拍経過した位置で自動的に解除されます。バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。
- 8 拍経過する前にもう一度 [REV] を押すと、スリップリバースを解除してバックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。
- スリップモードを解除するときはもう一度 [SLIP] を押します。

他機器と組み合わせて操作する

DJ ミキサーのフェーダーを使って再生を始める (フェーダースタート)

1　本機とパイオニア製 DJ ミキサーを付属のコントロールコードを使って接続する
接続方法については、12ページの *基本スタイル*をご覧ください。

2　DJ ミキサーのチャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを動かす
DJ プレーヤーの一時停止状態を解除して瞬時にトラックを再生します。接続している DJ ミキサーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- チャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーの位置を元に戻すと、設定していたキューポイントに戻り頭出しされて一時停止状態になります (バックキュー)。

2 台の DJ プレーヤーをリレー再生する

1　本機と DJ ミキサーを接続する
接続方法については、13ページの *リレー再生のための接続をする*をご覧ください。

2　DJ ミキサーのクロスフェーダーを中央位置に設定する

3　2 台の DJ プレーヤーのオートキューをオンにする
DJ プレーヤーのオートキューインジケーターが点灯します。

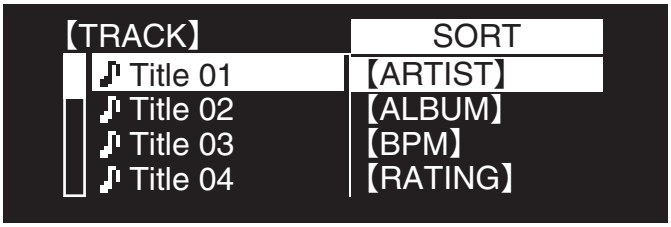
4　本機の再生を始める
本機が 1 トラック目を再生し終わるともう 1 台の DJ プレーヤーが自動的に再生を始めます。本機は次トラックの先頭で頭出しされて一時停止状態になります。この繰り返しにより自動的に 2 台の DJ プレーヤーでリレー再生できます。
- 待機中の DJ プレーヤーでは、メディアを交換したりキューポイントを設定できます。
- 再生中の DJ プレーヤーの電源がオフになったときは、もう一方の DJ プレーヤーが再生を始めることがあります。
- リレー再生中はフェーダースタート機能は働きません。
- 2 台の DJ プレーヤーを同じ DJ ミキサーに接続していないときは、リレー再生できないことがあります。

[BROWSE] を使う

トラックを並べ替える (ソートメニュー)

ライブラリブラウズしているとき、ソートメニューを使ってトラックを並べ替えられます (フォルダブラウズしているときはソートメニューは表示されません)。

1　トラックが表示されているときに [MENU/UTILITY] を押す
情報表示画面の右側にソートメニューが表示されます。



2　設定項目を選んで決定する
選んだ項目に従ってトラックが並び替わります。各トラックの情報が表示されます。
- [BACK] を押して上位階層に戻ると並べ替えは解除されます。

• ソートメニューの並べ替え項目の種類は、rekordboxのプリファレンス (環境設定) で変更できます。

トラックを探す (SEARCH)

• [SEARCH] を使って、本機にセットされているメディアに記録されているトラックを検索できます。
• ディスクに記録されているトラックは検索できません。
• ライブラリブラウズできないメディアに記録されているトラックは検索できません。

1 [SEARCH] を選んで決定する
文字入力画面が表示されます。

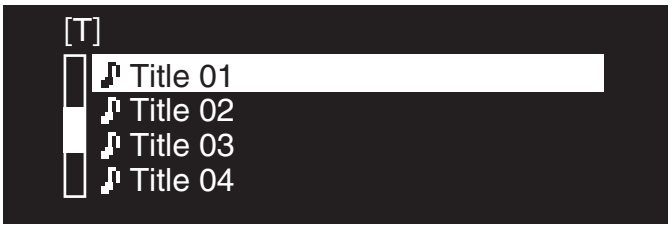
2 ロータリーセレクターを使って文字を入力する
入力した文字を含むトラックを表示します。
• 続けて文字を入力すると、入力した文字列から始まるトラックを表示します。
• [BACK] を押すとカテゴリー画面に戻ります。

ジャンプ機能を使う

ジャンプ機能を使って、再生したいトラック、カテゴリー、またはフォルダに瞬時に移動できます。
ジャンプ機能には、以下 2 つのモードがあります。
• アルファベットジャンプ : アルファベット順に並んでいる、または並べ替えているときに使います。
• ページジャンプ : アルファベット順に並んでいない、または並べ替えていないとき使います。ロータリーセレクターを回すとページ移動します。

❖ アルファベットジャンプのとき

1 ロータリーセレクターを 1 秒以上押す
アルファベットジャンプモードに切り換わります。選んでいるトラックの頭文字が左上に表示されます。



2 移動したい文字または記号を選んで決定する
選んだ文字または記号で始まるカテゴリーに移動します。
• アルファベットジャンプで表示される文字は A ～ Z、0 ～ 9、および記号です。

❖ ページジャンプのとき

1 ロータリーセレクターを 1 秒以上押す
ページジャンプモードに切り換わります。

2 移動したいページを選んで決定する
選んだページに移動します。

演奏履歴を参照する (HISTORY)

• [HISTORY] には、トラックの演奏履歴が記録および表示されます。
• rekordboxを使って [HISTORY] の演奏履歴を元にプレイリストを作成できます。詳しくは、rekordboxの操作説明書をご覧ください。

1 USB デバイスを本機にセットする

2 トラックを再生する
再生しているトラックが [HISTORY] に記録および表示されます。
• USB デバイスなどを本機にはじめてセットしたとき、または再セットしたとき、USB デバイス内に新しい [HISTORY] が自動で作成されます。
• [UTILITY] で [HISTORY] の名前をあらかじめ設定しておくことができます (21ページ)。
• すでに [HISTORY] に記録されているトラックは、別のトラックを再生してからふたたび再生すると、新しく [HISTORY] に記録されます。
• [HISTORY] に記録できる最大トラック数は、999 トラックです。1 000 トラック以上を記録すると、一番古い演奏履歴が削除されます。

❖ [HISTORY] を削除する

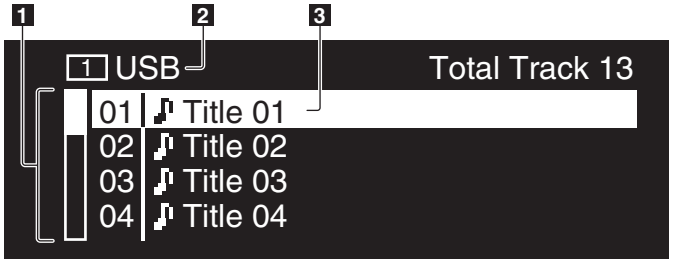
1 [HISTORY] を選んでいるときに [MENU/UTILITY] を押す
削除メニューが表示されます。

2 削除範囲を選んで決定する
• [DELETE]: カーソルで選んでいる [HISTORY] が削除されます。
• [ALL DELETE]: すべての [HISTORY] が削除されます。

• rekordboxを使って [HISTORY] をプレイリストに変換すると、[HISTORY] は削除されます。

[TAG LIST] を使う

次に再生するトラックや DJ シーンに合わせて選んだトラックを、最大 60 トラックまであらかじめタグリストに集めておくことができます。



1 内容一覧	タグリストの内容を表示します。
2 メディア名	トラックが記録されているメディアの名前を表示します。
3 カーソル	ロータリーセレクターを回すと上下に移動します。

タグリストにトラックを追加する

トラックを選んで [TAG TRACK/REMOVE] を押す
トラックの左側に ✓ が表示されます。
• タグリストに追加できるトラック数は、1 メディア当たり 60 トラックです。60 トラック以上追加しようとすると、警告画面が表示され追加できません。
• rekordboxを使ってあらかじめタグリストにトラックを登録しておくことができます。
• 複数の DJ プレーヤーが PRO DJ LINK接続されているときは、DJ プレーヤーに表示されるタグリストの内容は同一です。
• [INFO] を押して表示している状態で [TAG TRACK/REMOVE] を押すと、本機にロードされているトラックがタグリストに追加されます。

❖ カテゴリーまたはフォルダをタグリストに追加する

情報表示画面の右半分にトラックが一覧表示されている状態で [TAG TRACK/REMOVE] を押す
カテゴリー名 /フォルダ名が点滅し、カテゴリー /フォルダ内のトラックがタグリストに追加されます。
• すでにタグリストに追加されているトラックが含まれているカテゴリー /フォルダを選んで [TAG TRACK/REMOVE] を押すと、タグリストに追加されていないトラックだけ追加されます。
• フォルダブラウズしているときにフォルダを追加すると、トラック名がファイル名で登録されます。アーティスト名は登録されません。

❖ プレイリストをタグリストに追加する

情報表示画面の右半分にトラックが一覧表示されている状態で [TAG TRACK/REMOVE] を押す
プレイリスト名が点滅し、プレイリスト内のトラックがタグリストに追加されます。
• すでにタグリストに追加されているトラックが含まれているプレイリストを選んで [TAG TRACK/REMOVE] を押すと、タグリストに追加されていないトラックだけ追加されます。

タグリストからトラックをロードする

1 [TAG LIST] を押す
タグリストを表示します。

2 ロードしたいトラックを選んで決定する
トラックがロードされ再生がはじまります。

タグリストからトラックを削除する

1 [TAG LIST] を押す
タグリストを表示します。

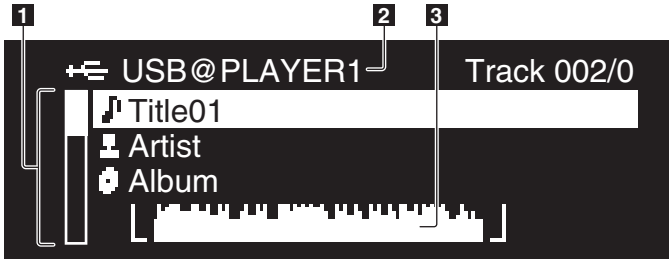
2 タグリストから削除したいトラックを選んで [TAG TRACK/REMOVE] を 1 秒以上押す

トラックがタグリストから削除されます。

- タグリストに追加されているトラックを再生しているとき、そのトラックをタグリストから削除すると、トラックの最後まで再生してから停止します。次トラックは再生しません。
- メディアを本機から取り外したときは、そのメディアに記録されているすべてのトラックがタグリストから削除されます。

[INFO] を使う

[INFO] を押すと、本機にロードされているトラックの詳細情報を確認できます。DJ プレーヤーが PRO DJ LINK接続されているときは、他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報も確認できます。



1トラック情報詳細	DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示します。ロータリーセレクターを回すと [BPM] など、その他の詳細情報を確認できます。
2メディア / プレーヤー番号	トラックの情報が保存されている場所を表示します。
3WAVE 表示	WAVE を表示します。

ロードされているトラックの詳細情報を確認する

トラックを再生しているときに [INFO] を押す

トラックの詳細情報が表示されます。

他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示する

1 本機と DJ プレーヤーを PRO DJ LINK接続する

2 [INFO] を押してから [MENU/UTILITY] を押す

[リンクインフォ] 画面が表示されます。

3 DJ プレーヤーを選んで決定する

選んだ DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報が表示されます。

- 選んだ DJ プレーヤーにトラックがロードされていないときは、詳細情報は表示されません。

INFORMATION ジャンプ機能を使う

詳細情報に表示されている項目を選んで、トラックが含まれるカテゴリーなどに移動できます。

1 トラックの詳細情報を表示する

2 設定項目を選んで決定する

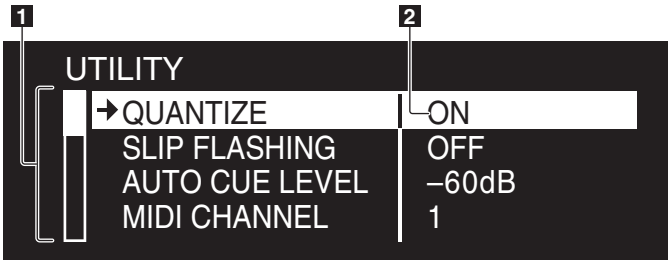
選んだ項目のライブラリブラウズに切り換わります。

- 項目によっては選べないことがあります。
- トラックを選んだときは、トラックがロードされたカテゴリーに移動します。
- ディスクの詳細情報から、PRO DJ LINK接続している DJ プレーヤーにセットされているトラックには移動できません。
- アイコンだけ表示されている項目を選んだときは、そのアイコンが該当するカテゴリーに移動します。

設定を変更する

[MENU/UTILITY] を使う

[MENU/UTILITY] を押すと、本機のさまざまな設定を変更できます。



1設定項目	本機の設定項目が表示されます。
2項目内容	それぞれの項目の設定値を表示します。

設定を変更する

1 [MENU/UTILITY] を 1 秒以上押す
[UTILITY] 画面が表示されます。

2 設定項目を選んで決定する
カーソルが設定内容に移動します。

3 設定内容を変更して決定する
カーソルが設定項目に戻ります。
- 設定内容を変更する前に [BACK] を押すと手順 2 に戻ります。

4 [MENU/UTILITY] を押す
[MENU/UTILITY] を押す前の画面に戻ります。

設定項目一覧

太字はお買い上げ時の設定です。

設定項目	設定範囲	説明
QUANTIZE	***ON***/OFF	詳しくは、11ページの QUANTIZEをご覧ください。
SLIP FLASHING	***ON***/OFF	[SLIP] を使った DJ プレイ中に SLIPインジケーターを点滅させる /点滅させないを設定します。
AUTO CUE LEVEL	-36dB/-42dB/-48dB/-54dB/***-60dB***/-66dB/-72dB/-78dB	詳しくは、16ページの *オートキューレベルを変更する*をご覧ください。
MIDI CHANNEL	***1***～16	–
LIBRARY CREATOR	***LIBRARY***/FOLDER	パイオニア製 MEP-7000 用ライブラリが記録されているメディアのブラウズ方法を設定します。
HISTORY NAME	–	詳しくは、右記の *[HISTORY NAME] を設定する*をご覧ください。
DIGITAL OUT	16 bit/***24 bit***	[DIGITAL OUT] 端子から出力する音声の bit 数を切り換えます。
PLAYER No.	***AUTO***、1～4	本機のプレーヤー番号を設定します。本機にメディアがセットされているときは変更できません。
LINK STATUS	–	PRO DJ LINK接続しているとき接続状態を表示します。
AUTO STANDBY	***ON***/OFF	詳しくは、右記の*オートスタンバイを設定する*をご覧ください。
VERSION No.	–	本機のソフトウェアバージョンが表示されます。

オートスタンバイを設定する

1 [AUTO STANDBY] を選んで決定する

2 [ON] または [OFF] を選んで決定する
[AUTO STANDBY] を [ON] に設定すると、以下のときにパワーマネージメント機能が働きスタンバイ状態になります。
- ディスクまたはUSBデバイスがセットされていない、かつPRO DJ LINK接続していない、かつ USB端子（本体背面部）にコンピュータが接続されていない状態で、4 時間以上まったく何も操作されないとき
- 本機を操作するとスタンバイ状態が解除されます。
- 本機は、パワーマネージメント機能をオンに設定して出荷しています。パワーマネージメント機能をお使いにならないときは、[AUTO STANDBY] を [OFF] に設定してください。

[HISTORY NAME] を設定する

USB デバイスに記録される [HISTORY] の名前をあらかじめ設定できます。

1 [HISTORY NAME] を選んで決定する

2 ロータリーセレクターを使って文字を入力する

3 ロータリーセレクターを押して決定する
[HISTORY NAME] の設定が変更されます。
- [HISTORY NAME] を設定しないときは、[HISTORY] の後ろに数字が順番に追加されます。
- [HISTORY] の名前に設定できる文字数は、半角英数と記号を合わせて 32 文字です。

ソフトウェア rekordboxについて

rekordboxは、CDJ-2000や CDJ-900などのパイオニア製 DJ プレーヤーをお買い上げいただいたお客様が、DJ プレイに使う音楽ファイルを管理するためのソフトウェアです。

— コンピュータに保存されている音楽ファイルを分類・検索し、DJ シーンに応じたプレイリストを作成できます。
— 音楽ファイルの拍位置 (ビート)、テンポ (BPM) などをあらかじめ検出・測定・調整しておくことができます。
— キュー、ループ、ホットキューなどのポイント情報をあらかじめ設定・保存しておくことができます。

rekordboxを使って検出・測定したデータおよび設定・保存したポイントを、CDJ-2000や CDJ-900などのパイオニア製 DJ プレーヤーと組み合わせて使うことによって、優れた DJ パフォーマンスを実現できます。

ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書 (以下「本契約」といいます) は、お客様とパイオニア株式会社 (以下「当社」といいます) との間における、DJ 機器用ソフトウェア (以下「本ソフトウェア」といいます) の使用に関する事項を定めるものです。本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

(使用許諾)
本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル・コンピュータにインストールして使用することができます。

(制限事項)
お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等をすることはできず、さらに、逆コンパイル、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

(著作権等)
本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

(保証及び技術サポートの否認)
本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

(責任制限)
当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害 (利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません) に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

(準拠法)
本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意 (それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません) に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

著作権についてのご注意

rekordboxでは、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用する上でのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用する上でのすべての責任を負います。

インストールについてのご注意

rekordboxをインストールする前に「*ソフトウェア使用許諾契約書*」をよくお読みください。

rekordboxは以下の OS に対応しています。

- Mac OS X (10.4.6 以降)
- Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate
- Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate (SP1 以降)
- Windows® XP Home Edition/Professional (SP3 以降)
  — rekordbox は Windows® XP Professional x64 edition には対応していません。

付属の CD-ROMには、以下の 12 言語のインストールプログラムと操作説明書が収録されています。

- 英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、オランダ語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、日本語
  — その他の言語の OS でお使いになるときは、画面の指示に従って [English (英語)] を選んでください。

インストールを開始する前に、お使いになっているコンピュータが以下の動作環境に合っているかをご確認ください。

< 必要なシステム (最低動作環境)>

- CPU :
  — Mac OS X の場合は、1.83 GHz 以上の Intel® Core™Duo (または互換プロセッサ) を搭載した Macintosh コンピュータ
  — Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP の場合は、2 GHz 以上の Intel® Pentium® 4 (または互換プロセッサ) を搭載した PC/AT 互換コンピュータ
- 必要メモリー : 1 GB 以上の RAM
- ハードディスク : 250 MB 以上の空き容量 (音楽ファイルなどの保存に要する容量を除く)
- CD ドライブ : CD-ROMの読み込みが可能な光ディスクドライブ
- サウンド : スピーカーやヘッドホンなどへのオーディオ出力 (内蔵または外付けのオーディオデバイス)
- インターネット接続 : ユーザー登録およびお問い合わせの際には、128 ビット SSL に対応したウェブブラウザをお使いください (Safari 2.0 以上または Internet Explorer® 6.0 以上など)。
- USB ポート : USB デバイス (フラッシュメモリやハードディスクなど) に音楽ファイルを転送するときは、USB デバイスと接続するための USB ポートが必要です。
- LAN ポート : 当社の DJ プレーヤー (CDJ-2000や CDJ-900など) に音楽ファイルを転送するときは、DJ プレーヤーと通信するためのイーサネット LAN アダプター (RJ45 ポート) が必要です。
  — 上記の動作環境をみたしているすべてのコンピュータにおける動作を保証するものではありません。
  — 上記の動作環境に記載されている必要メモリ容量を搭載していても、常駐プログラムやサービスの数によっては、メモリ不足によってソフトウェアの機能・性能が発揮できないことがあります。このようなときは、常駐プログラムやサービスを停止して空きメモリを確保してください。安定した動作をさせるにはメモリの増設をお勧めします。
  — コンピュータの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピュータをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで rekordboxをお使いください。
  — お客様がお使いになっている他のソフトウェアとの組み合わせによっては、rekordboxの動作に不具合が発生することがあります。

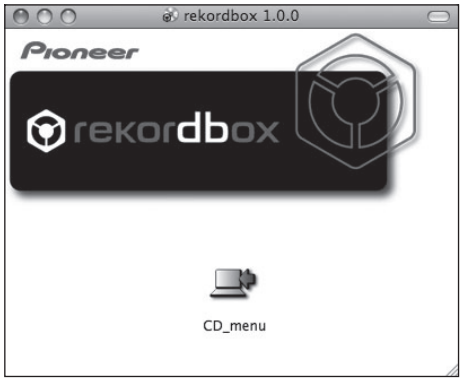
rekordboxをインストールする

❖ インストール手順 (Macintosh)

- rekordboxをインストールする前に「*インストールについてのご注意*」をよくお読みください。
- コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログインしてからインストールしてください。

1 付属の CD-ROMをコンピュータの CD ドライブに挿入すると画面上に CD ドライブが開くので、[CD_menu.app] のアイコンをダブルクリックする

- CD-ROMを挿入しても画面上に CD ドライブが開かないときは、Finder で CD ドライブを開いてから [CD_menu.app] のアイコンをダブルクリックしてください。



2 CD-ROMのメニューが表示されたら、[rekordbox: 音楽管理ソフトウェアをインストールする] を選んで [開始] をクリックする

CD-ROMのメニューを終了させるときは、[終了] をクリックしてください。

3 画面の指示に従って rekordboxをインストールする

❖ インストール手順 (Windows)

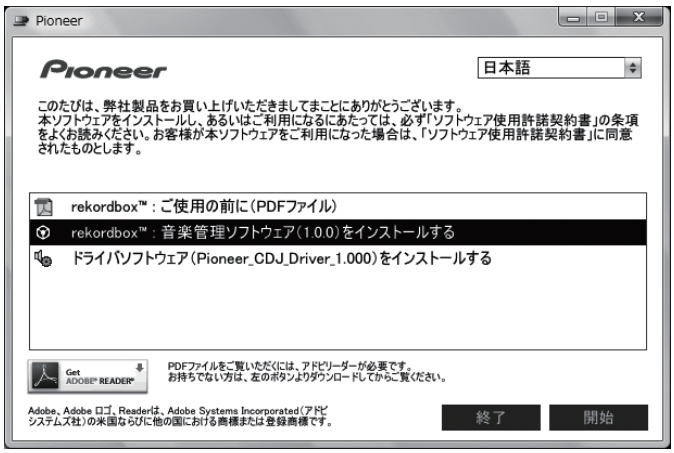
- rekordboxをインストールする前に「*インストールについてのご注意*」をよくお読みください。
- コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログオンしてからインストールしてください。

1 付属の CD-ROMをコンピュータの CD ドライブに挿入する

CD-ROMのメニューが表示されます。

- CD-ROMを挿入しても CD-ROMのメニューが表示されないときは、[スタート] メニューの [コンピュータ (またはマイコンピュータ)] から CD ドライブを開き [CD_menu.exe] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROMのメニューが表示されたら、[rekordbox: 音楽管理ソフトウェアをインストールする] を選んで [開始] をクリックする



CD-ROMのメニューを終了させるときは、[終了] をクリックしてください。

3 画面の指示に従って rekordboxをインストールする

- インストールを途中で中止するときは [キャンセル] をクリックしてインストールを中止してください。

rekordboxを起動する

コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログイン (またはログオン) してから rekordboxをお使いください。
はじめて rekordboxを起動する際には、ライセンスキーを入力する必要があります。ライセンスキーは、CD-ROM の包装に貼り付けられています。
rekordboxを起動すると、rekordboxの [ヘルプ] メニューから操作説明書をご覧になれます。

❖ Mac OS X のとき :

Finder で [アプリケーション] フォルダを開いてから [rekordbox 1.x.x.app] をダブルクリックする
1.x.x は rekordboxのバージョンを示します。

❖ Windows Vista®および Windows ® XP のとき :

Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [rekordbox 1.x.x] > [rekordbox 1.x.x] をクリックする
1.x.x は rekordboxのバージョンを示します。

サポートサイトのご利用について

rekordboxの操作方法や技術的な質問をお問い合わせいただく前に、rekordboxの操作説明書をお読みいただくとともに rekordboxのサポートサイトに掲載されております FAQ をご確認ください。

<rekordboxのサポートサイト>

http://www.prodjnet.com/rekordbox/support/

- rekordboxについてお問い合わせいただくには、事前に rekordboxのサポートサイトでユーザー登録を行う必要があります。
- ユーザー登録の際にはライセンスキーの入力が必要ですので、お手元にライセンスキーをご用意ください。なお、ユーザー登録の際にご指定いただきました「ログインネーム (お客様の e-mail アドレス)」と「パスワード」は、ライセンスキーと同様、お忘れにならないように十分ご注意ください。
- パイオニアグループでは、以下の使用目的のためにお客様の個人情報を収集させていただいております。
  1 お買い上げいただいた商品のアフターサービスをご提供させていただくため
  2 商品に関する重要な情報やイベント情報を電子メールでお客様にお知らせするため
  3 お客様よりアンケートを収集させていただき、調査結果を商品企画に反映するため
  — お客様から収集する個人情報は当社が定める個人情報保護方針に則って厳重に管理いたします。
  — 当社の個人情報保護方針は rekordboxのサポートサイトでご覧いただけます。
- rekordboxについてのお問い合わせの際には、お客様のコンピュータの機種名およびスペックの詳細 (CPU・メモリ搭載量・接続している周辺機器など)・オペレーティングシステムのバージョン・具体的な不具合の症状を必ずご連絡ください。
  — コンピュータや周辺機器など、当社の取り扱い製品以外の組み合わせや技術的な質問に関しては、各メーカーまたは販売代理店へご確認ください。
- 今後、rekordboxの機能・性能向上のためのバージョンアップを予定しております。サポートサイトからアップデートプログラムをダウンロードできます。是非ともこのアップデートを行っていただき、常に最新バージョンをお使いいただきますようお願い申し上げます。

ドライバソフトウェアについて

本ドライバソフトウェアは、コンピュータからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバです。本機を Windowsがインストールされているコンピュータに接続してお使いになるときは、あらかじめコンピュータにドライバソフトウェアをインストールしてください。
Mac OS X がインストールされているコンピュータをお使いのときは、OS 標準ドライバソフトウェアをお使いください。

ソフトウェア使用許諾契約書

ドライバソフトウェアをインストール、あるいはご利用になるときは、22ページの *ソフトウェア使用許諾契約書*の条項をよくお読みください。お客様がドライバソフトウェアをご利用になったときは、*ソフトウェア使用許諾契約書*に同意されたものとします。

インストールについてのご注意

- ドライバソフトウェアをインストールする前に、本機の電源スイッチを切り、本機とコンピュータを接続している USB ケーブルを取り外してください。
- ドライバソフトウェアをコンピュータにインストールしないで本機をコンピュータに接続すると、お客様の環境によってはコンピュータにエラーが発生することがあります。
- ドライバソフトウェアのインストールを途中で中止したときは、以下の手順に沿ってはじめからインストールをやり直してください。
- 本機の専用ドライバソフトウェアをインストールする前に、ソフトウェア使用許諾契約書*ソフトウェア使用許諾契約書*をよくお読みください。
- ドライバソフトウェアをインストールする前に、コンピュータ上で他に作業中のプログラムがあればすべて終了させてください。
- ドライバソフトウェアは以下の OS に対応しています。
  — Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate
  — Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate (SP1 以降)
  — Windows® XP Home Edition/Professional (SP3 以降)
  ドライバソフトウェアは Windows® XP Professional x64 edition には対応していません。
  64 ビット版 Windows をお使いのときは、ドライバソフトウェアは 32 ビットアプリケーションだけにお使いいただけます。
- 付属の CD-ROM には、以下の 12 言語のインストールプログラムが収録されています。
  英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、オランダ語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、日本語
  その他の言語の OS でお使いになるときは、画面の指示に従って [English (英語)] を選んでください。

ドライバソフトウェアをインストールする

- ドライバソフトウェアをインストールする前に「*インストールについてのご注意*」をよくお読みください。
- ドライバソフトウェアをインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログオンしてからインストールしてください。

1 付属の CD-ROMをコンピュータの CD ドライブに挿入する

CD-ROMのメニューが表示されます。

- CD-ROMを挿入しても CD-ROMのメニューが表示されないときは、[スタート] メニューの [コンピュータ (またはマイコンピュータ)] から CD ドライブを開き [CD_menu.exe] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROMのメニューが表示されたら、[ドライバソフトウェアをインストールする] を選んで [開始] をクリックする

CD-ROMのメニューを終了させるときは、[終了] をクリックしてください。

3 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [Windowsセキュリティ] 画面が表示されることがありますが、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続行してください。

- Windows XP にインストールしているとき
  インストールの途中で [ハードウェアのインストール] 画面が表示されることがありますが、[続行] をクリックしてインストールを続行してください。
- インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。

本機とコンピュータを接続する

1 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する

2 [POWER] を押す

本機の電源をオンにします。

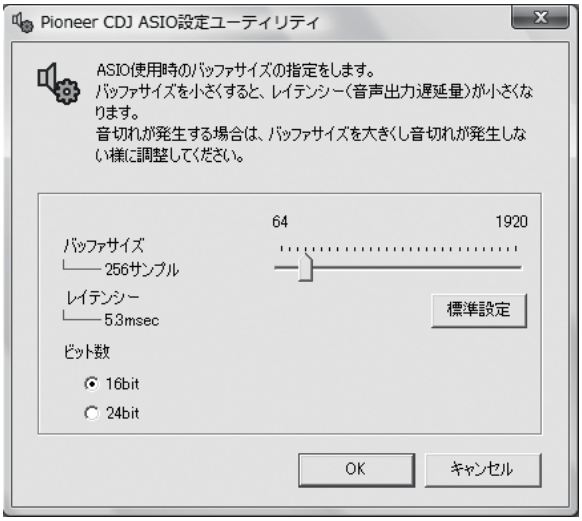
- 本機をはじめてコンピュータに接続したとき、またはコンピュータの USB 端子をつなぎ変えたとき [デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。] メッセージが表示されることがあります。「デバイスを使用する準備ができました。」メッセージが表示されるまでそのままお待ちください。
- Windows XP にインストールしているとき
  — インストールの途中で [ハードウェア検索のため、Windows Update に接続しますか？] と表示されることがあります。[いいえ、今回は接続しません] を選んで [次へ] をクリックしてインストールを続行してください。
  — インストールの途中で [インストール方法を選んでください] と表示されることがあります。[ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)] を選んで [次へ] をクリックしてインストールを続行してください。
  — インストールの途中で [ハードウェアのインストール] 画面が表示されることがありますが、[続行] をクリックしてインストールを続行してください。

バッファサイズを調整する (Windows)

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。

- 本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション (DJ ソフトウェアなど) が起動しているときは、そのアプリケーションを終了させてからバッファサイズを調整してください。

Windowsの [スタート] メニュー>[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[Pioneer CDJ]>[Pioneer CDJ ASIO 設定ユーティリティ] をクリックする



- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。
- ビット数は ASIO 再生時のビット深度を指定します。
- ビット数に 24bit を指定する場合は、ファームウェアのバージョンを 3 以降にアップデートする必要があります。

ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

Windowsの [スタート] メニュー>[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[Pioneer CDJ]>[Pioneer CDJ バージョン表示ユーティリティ] をクリックする

- この画面では本機のファームウェアのバージョンも確認できます。
- 本機がコンピュータに接続されていないとき、または本機とコンピュータが正常に通信できていないときは、ファームウェアのバージョンは表示されません。

ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記ホームページを参照してください。
http://www.prodjnet.com/support/

他社製 DJ ソフトウェアを使う

MIDI を使って DJ ソフトウェアを操作する

本機はボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピュータと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピュータで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。
本機をオーディオデバイスとして使うときはあらかじめコンピュータにドライバソフトウェアをインストールしてください (24ページ)。また、DJ ソフトウェアの設定で本機を選んでおく必要があります。詳しくはお使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

1 本機の USB 端子とコンピュータを接続する
接続方法については、13ページの *他社製 DJ ソフトウェアを使う*をご覧ください。

2 [BROWSE] を押してから [LINK] を押す
メニュー画面に [コントロールモード] および [USB-MIDI] が表示されます。

3 [コントロールモード] を選んで決定する
接続中画面が表示されます。

4 [USB-MIDI] を選んで決定する
本機がコントロールモードに切り換わります。

5 DJ ソフトウェアを起動する
DJ ソフトウェアと通信が始まります。
- 本機のボタンおよびロータリーセレクターなどを使ってコンピュータの DJ ソフトウェアを操作できます。
- ボタンによっては DJ ソフトウェアの操作に使えないことがあります。
- 本機にトラックがロードされるとコントロールモードが解除されます。
- 本機が出力するメッセージについては *MIDI メッセージ一覧*をご覧ください。

❖ MIDI チャンネル設定を変更する

1 [MENU/UTILITY] を 1 秒以上押す
ユーティリティ画面が表示されます。

2 [MIDI CHANNEL] を選んで決定する

3 ロータリーセレクターを回す
MIDI チャンネルを選んで設定を変更します。1 ～ 16 の設定を選べます。

4 ロータリーセレクターを押して決定する

5 [MENU/UTILITY] を押す
元の画面に戻ります。

❖ MIDI メッセージ一覧

SW 名	SW の種類	MIDI メッセージ MSB			備考
JOG (TOUCH)	–	Bn	10	dd	停止から4倍速の速度に対するリニア値で、停止で 64、FWD 方向: 65 (0.06 倍速) ～ 127 (4 倍速) ・REV 方向 : 63 (0.06 倍速) ～ 0 (4 倍速)。
TEMPO SLIDER	VR	Bn	1D	dd	0 ～ 127 −側で 0、＋側で 127
TOUCH/ RELEASE	VR	Bn	1E	dd	0 ～ 127 左側 (min) で 0、右側 (max) で 127
JOG RING	–	Bn	30	dd	0.5 倍速から4倍速の速度に対するリニア値で、停止 (0.49 倍速以下) で 64、FWD 方向 : 65 (0.5 倍速) ～ 127 (4 倍速) ・REV 方向:63 (0.5 倍速) ～ 0 (4 倍速)。
ENCODER	General Purpose Controller	Bn	4F	dd	98 ～ 127、1 ～ 30 前回からの差分のカウント値を転送 (± 1 ～ ± 30) ± 30 以上のときは ± 30 とする
PLAY/PAUSE	SW	9n	00	dd	OFF=0, ON=127
CUE	SW	9n	01	dd	OFF=0, ON=127
SEARCH FWD	SW	9n	02	dd	OFF=0, ON=127
SEARCH REV	SW	9n	03	dd	OFF=0, ON=127
TRACK SEARCH NEXT	SW	9n	04	dd	OFF=0, ON=127
TRACK SEARCH PREV	SW	9n	05	dd	OFF=0, ON=127
LOOP IN	SW	9n	06	dd	OFF=0, ON=127
LOOP OUT	SW	9n	07	dd	OFF=0, ON=127
RELOOP	SW	9n	08	dd	OFF=0, ON=127
MEMORY	SW	9n	0A	dd	OFF=0, ON=127
CALL NEXT	SW	9n	0B	dd	OFF=0, ON=127
CALL PREV	SW	9n	0C	dd	OFF=0, ON=127
DELETE	SW	9n	0D	dd	OFF=0, ON=127
TIME/A.CUE	SW	9n	0E	dd	OFF=0, ON=127
TEMPO RANGE	SW	9n	10	dd	OFF=0, ON=127
MASTER TEMPO	SW	9n	11	dd	OFF=0, ON=127
JOG MODE	SW	9n	12	dd	OFF=0, ON=127
JOG TOUCH	SW	9n	20	dd	OFF=0, ON=127
REVERSE	SW	9n	21	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 1	SW	9n	28	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 2	SW	9n	29	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 4	SW	9n	2A	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 8	SW	9n	2B	dd	OFF=0, ON=127
SLIP	SW	9n	2C	dd	OFF=0, ON=127
BEAT SELECT	SW	9n	2D	dd	OFF=0, ON=127
EJECT	SW	9n	2F	dd	OFF=0, ON=127
TAG TRACK	SW	9n	30	dd	OFF=0, ON=127
BACK	SW	9n	32	dd	OFF=0, ON=127
ENCODER PUSH	SW	9n	33	dd	OFF=0, ON=127

n はチャンネル番号です。

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、以下の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、28ページの*保証とアフターサービス*をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしディスクが完全に停止してから再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。
- 本機は CD-R/RW の未ファイナライズディスク (パーシャリーディスク) は再生できません。
- 本機は一般の 12 cm ディスク以外の異形ディスクは再生できません (故障・事故の原因になることがあります)。
- 本機で測定した BPM 値が CD の記載値、もしくは当社の DJ ミキサーなどと異なることがあります。これは BPM の測定方法などが違うためであり故障ではありません。

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
ディスクが取り出せない。	–	[DISC EJECT⏏] が働かないときは、ディスク強制取り出し穴にピンを挿入して取り出してください。
ディスクをセットしても再生が始まらない。	再生できるディスクまたはファイルですか？	7ページの *本機で再生できるディスク/ファイルについて*をご覧ください。
	オートキュー機能が働いていませんか？	[AUTO CUE] を 1 秒以上押して、オートキュー機能を解除してください。
ファイルを再生できない。	ファイルが著作権保護（DRM）されていませんか？	著作権保護されているファイルは再生できません。
音が出ない、歪む、またはノイズが出る	接続している DJ ミキサーが正しく操作されていますか？	DJ ミキサーの操作を確認してください。
	本機とテレビを近くに設置していませんか？	テレビの電源をオフにしてください。または本機とテレビを離して設置してください。
特定のディスクを再生すると、大きなノイズが出るまたは再生が停止する。	ディスクに傷がついていませんか？	傷がついているディスクは再生できないことがあります。
	ディスクが汚れていませんか？	ディスクの汚れを拭き取ってください（28ページ）。
ファイルの情報が正しく表示されない。	本機が対応していない言語で情報が記述されていませんか？	DJ ソフトウェアなどを使ってファイルを作成するときは、本機が対応している言語で情報を記述してください。
トラックサーチが終わらない。	オートキュー機能が働いていませんか？	曲間の無音部分が長いときは、トラックサーチに時間がかかることがあります。
	–	10 秒以内にトラックサーチできないときは、トラックの先頭がキューポイントに設定されます。
バックキュー機能が働かない。	キューポイントが設定されていますか？	キューポイントを設定してください (16ページ)。
ループプレイ機能が働かない。	キューポイントが設定されていますか？	キューポイントを設定してください (16ページ)。
設定が記憶されない。	設定を変更したあと、すぐに電源をオフにしていませんか？	設定を変更したあとは、10 秒以上経過してから電源をオフにしてください。
USB デバイスを認識しない。	USB デバイスが正しく接続されていますか？	奥までしっかり差し込んでください。
	USB ハブを経由して接続していませんか？	USB ハブは使えません。
	本機が対応している USB デバイスですか？	USB マスストレージクラスの機器にだけ対応しています。
		携帯フラッシュメモリー、またはデジタルオーディオ再生機器に対応しています。
	ファイルフォーマットが本機に対応していますか？	接続している USB デバイスのファイルフォーマットを確認してください。本機が対応しているファイルフォーマットについては、8ページの *USB デバイスについて*をご覧ください。
	–	電源をオンし直してください。
USB デバイスに記録されている曲のキューポイントまたはループが記憶されない。	USB デバイスに十分な空き容量がありますか？	USB デバイスに記録できるキューポイントまたはループポイントは、ディスク 1 枚当たり 100 か所です (ディスク以外のメディアでは、1 トラック当たり 10 か所です)。制限数以上のポイントを記録しようとすると [POINT FULL] が表示され記録できません。
		USB デバイスの空き容量が少ないときまたは書き込み禁止が設定されているときは [USB FULL] が表示され記録できません。
USB デバイスに記録されている曲のキューポイントまたはループが表示されない。	USB デバイスを正しく取り外しましたか？	停止処理を行わずに取り外すまたは本機の電源をオフにすると、表示されないことがあります。
プレーイングアドレス表示が残り時間表示で表示されない。	–	VBR で記録されているファイルを再生しているときは、曲の長さがすぐに判らないことがあるためプレーイングアドレス表示が表示されるまでに時間がかかることがあります。
USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) の読み込みに時間がかかる。	USB デバイスに大量のフォルダまたはファイルを記録していませんか？	フォルダやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。
	USB デバイスに音楽ファイル以外のファイルを保存していませんか？	音楽ファイル以外のファイルがフォルダ内にあるときも読み込みに時間がかかるので、音楽ファイル以外のファイル、フォルダは入れないようにしてください。
ライブラリブラウズできない。	ライブラリ情報が記録されているメディアをセットしていますか？	ライブラリ情報が記録されているメディアをセットしているときだけライブラリブラウズで表示できます。ライブラリ情報が記録されていないメディアをセットしたときはフォルダブラウズで表示します。
[HISTORY] が表示されない。	USB デバイスをセットしていますか？	[HISTORY] は、USB デバイスをセットしている DJ プレーヤーでお使いいただける機能です。
何も表示されない。	パワーマネージメント機能が働いていませんか？	本機は、パワーマネージメント機能をオンに設定して出荷しています。パワーマネージメント機能をお使いにならないときは、[AUTO STANDBY] を [OFF] に設定してください。(21ページ)
PRO DJ LINKがうまく動かない。	プレーヤー番号が正しく設定されていますか？	[PLAYER No.] を [AUTO] または現在の設定とは異なる番号に変更してください。(21ページ)
	LAN ケーブルが正しく接続されていますか？	LAN ケーブルを [LINK] 端子に正しく接続してください。
	スイッチングハブの電源がオンになっていますか？	スイッチングハブの電源をオンにしてください。
	スイッチングハブに不要な機器が接続されていませんか？	スイッチングハブから不要な機器を取り外してください。

エラー表示

本機が正常に動作できないときは表示部にエラーコードを表示します。以下の表で確認して処置してください。以下の表に無いエラーコードが表示されるときや、処置しても同じエラーコードが表示されるときは、お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

エラーコード	エラータイプ	エラー内容	原因と処置
E-7201	TOC READ ERROR	TOC データが読み取れない。	• ディスクにひび割れがある。→ディスクを交換してください。 • ディスクが汚れている。→ディスクをクリーニングしてください。 • 他のディスクで正常に動作するときはディスクに原因があります。
E-8301 E-8302 E-8303	PLAYER ERROR	正常に演奏できないディスクがセットされている。	
E-8304	DECODE ERROR	正常に演奏できない音楽ファイルをロードしている。	フォーマットに従っていない。→フォーマットに従った音楽ファイルに交換してください。
E-8305	DATA FORMAT ERROR		
E-8306	NO FILE	ライブラリ、プレイリストなどに登録していたトラックが、USB デバイスから削除されていたため再生できない。	USB デバイスからそのトラックを削除しないでください。
E-9101	MECHANICAL TIME OUT	ディスクの読み込み中または取り出し中にメカエラー (タイムアウト) になった。	規定時間内にメカ動作が終了しなかったときに表示されます。

本体表示部表示アイコン一覧

ジャンル		レーティング		USB		再生中		ヒストリー	
アーティスト		時間		SD		再生済		WAIT	
アルバム		プレーヤー番号 (1 ～ 4)		コンピュータ		リミキサー名			
トラック /ファイル名		タグリスト登録済み		ディスク		オリジナルアーティスト			
プレイリスト		再生不可		レーベル会社		フォルダー			

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付センター、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

音楽管理ソフトウェア rekordboxは保証書に記録されている無料修理等の対象ではありません。rekordboxをインストールし、あるいはご利用するにあたっては、22ページの *ソフトウェア使用許諾契約書*の条項をよくお読みください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 26ページの *故障かな？と思ったら*をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：マルチプレーヤー
- 型番：CDJ-900
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作 (使用したメディアも) で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

使用上のご注意

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部 (動作部やレンズ) に水滴が付きます (結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れずに 1 ～ 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このようなときは、*保証とアフターサービス*をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販のクリーニングディスクはレンズを破損する恐れがありますので、使用しないでください。

ディスクの取り扱いかた

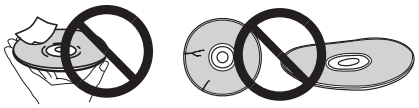
保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やほこりが付いたときは、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用しないでください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞り汚れを拭き取ったあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク（ ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れをつけないでください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。



特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

免責事項について

- Pioneerおよび rekordboxは、パイオニア株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows Vista®、Windows®、Internet Explorer®は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS、Safari、iTunes、Finder は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Pentium は米国 Intel Corporationの登録商標です。
- Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは http://www.mp3licensing.comをご参照ください。

IIS

Fraunhofer Institut
Integrierte Schaltungen

MPEG Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson multimedia からライセンスを受けています。

仕様

電源 ..... AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力 ..... 26 W
待機時消費電力 ..... 0.4 W
本体質量 ..... 3.9 kg
外形寸法 ..... 305 mm（幅）x 115.6 mm（高さ）x 385 mm（奥行）
許容動作温度 ..... +5 ° C ～ +35 ° C
許容動作湿度 ..... 5 %～ 85 %（結露のないこと）

アナログ音声出力 (AUDIO OUT L/R)

出力端子 ..... RCA 端子
出力レベル ..... 2.0 Vrms (1 kHz)
周波数特性 ..... 4 Hz ～ 20 kHz
S/N 比 ..... 115 dB
全高調波歪率 ..... 0.003 %

デジタル音声出力 (DIGITAL OUT)

出力端子 ..... RCA 端子
出力方式 ..... 同軸デジタル (S/PDIF)
出力レベル ..... 0.5 Vp-p (75 Ω)
出力フォーマット ..... 44.1 kHz, 24 bit/16 bit

USB ダウンストリーム部 (USB)

端子 ..... A タイプ
電源供給 ..... 5 V/500 mA 以下

USB アップストリーム部 (USB)

端子 ..... B タイプ

LAN (PRO DJ LINK)

規格 100Base-TX

コントロール出力 (CONTROL)

端子 ..... ミニジャック

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

愛情点検

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。	➡ ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026*_A1_Ja

サービス拠点のご案内

サービス拠点への電話は、修理受付窓口でお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービス認定店）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付窓口にご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆北海道サービスセンター	FAX 011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX 0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX 0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX 0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆東北サービスセンター	FAX 022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX 023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX 024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX 019-656-7648	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX 017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX 0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX 018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目345-1

●東京都内

受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

世田谷サービスステーション	FAX 03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX 03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX 042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1F

●関東･甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆東関東サービスセンター	FAX 047-773-9354	〒275-0016	習志野市津田沼3-20-22
水戸サービス認定店	FAX 029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX 0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆北関東サービスセンター	FAX 048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
宇都宮サービス認定店	FAX 028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-21
群馬サービス認定店	FAX 0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX 025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX 0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆南関東サービスセンター	FAX 045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜サービス認定店	FAX 045-348-8661	〒240-0043	横浜市保土ヶ谷区坂本町250
神奈川西サービス認定店	FAX 046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX 04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX 0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX 026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX 055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆中部サービスセンター	FAX 052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX 0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX 059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX 058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービス認定店	FAX 054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-17-17
沼津サービス認定店	FAX 055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX 053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX 076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX 076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX 0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆関西サービスセンター	FAX 06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
神戸サービス認定店	FAX 078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX 0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX 0734-46-3026	〒641-0014	和歌山市毛見1126-4
京都サービス認定店	FAX 075-644-7975	〒601-8444	京都市南区西九条森本町4　イッツアイランド1F
奈良サービス認定店	FAX 0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX 0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国･四国地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆中四国サービスセンター	FAX 082-534-5859	〒733-0003	広島市西区三篠町2-4-22 NKビル1F
岡山サービス認定店	FAX 086-250-2724	〒700-0975	岡山市北区今3-10-10　備前ビル1F
松江サービス認定店	FAX 0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　(有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX 0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX 0857-28-8011	〒680-0934	鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX 0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービス認定店	FAX 087-813-6112	〒760-0080	高松市木太町862-1
徳島サービス認定店	FAX 088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX 088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX 089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆九州サービスセンター	FAX 092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX 093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX 092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
西九州サービス認定店	FAX 0952-20-1991	〒840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX 095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX 096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX 097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX 0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX 099-201-3803	〒890-0046	鹿児島市西田3-8-24　サニーサイド21 1F

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

沖縄サービス認定店	TEL 098-987-1120	〒902-0073	那覇市上間413　琉電アパート1-5
	FAX 098-987-1121		

平成22年6月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

＜各窓口へのお問い合わせの時のご注意＞
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　フリーコール 0120−944−222　　一般電話　044−572−8102

■ファックス　044−572−8103

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　フリーコール 0120−5−81028（コーハ°イオニア）　　一般電話　044−572−8100

■ファックス　フリーコール 0120−5−81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−987−1120

■ファックス　098−987−1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　フリーコール 0120−5−81095　　一般電話　044−572−8107

■ファックス　フリーコール 0120−5−81096

平成22年6月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.039

ⓒ 2009 パイオニア株式会社　禁無断転載

パイオニア株式会社　〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<DRA1429-B>